



年 報

2020（令和2）年度

Annual Report 2020

Kaishi Professional University

はじめに

開志専門職大学
学長 北畑 隆生

年報の創刊

開志専門職大学の記念すべき年報第一号が完成しました。

2020年4月1日、本学は、事業創造学部、情報学部の2学部、学生数152名、教員39名、職員29名の大学として紫竹山、米山の地に創設されました。小さなスタートではありましたが、翌年度にはアニメ・マンガ学部が増設され、学生数も着実に増え、将来の大きな発展を予感させます。

誠に異例のスタートでありました。全世界で数十万の死者を出した新型コロナウイルス蔓延の中での開学となり、入学式はWEB方式、授業はオンラインでの出発となりました。学生、保護者は勿論、教職員にとっても残念なことでありました。感染対策に十分な準備をした上で6月29日、県内の大学では最も早く対面授業を基本とする方針に切り替えました。教授等と議論をし、同窓と友情を育み、サークル活動などキャンパスライフを謳歌したいという学生の希望に応えたものです。幸い一人の感染者も出さず無事初年度を終えることができたのは、教職員の尽力、保護者の御協力、そして何よりも学生諸君の自覚と慎重な行動の賜物です。みんなの共同作業で達成した誇るべき成果であると思います。

実践的な教育でプロフェッショナルなスキルを持つ高度人材を養成するのが専門職大学制度創設の趣旨です。臨地実務実習の報告会で自信に満ちたプレゼンテーションを行う学生の姿を見て、その成長を実感しました。新潟大学主催のビジネスアイデアコンテストに応募した事業創造学部、情報学部の一年生が2位、3位を獲得したことには驚きましたが、本学が目指す方向に間違いがないことを確信するものでした。そのほかさまざまな活動が年報に記録として残されています。

年報は、学生、教職員の一年の歩みを記録する公式文書です。将来、後輩が本学の原点を振り返るときの貴重な資料となるでしょう。

初年度の歴史を創った一期生の諸君、それを支えた教職員の皆さんに心から感謝をするとともに、年報の取りまとめを担当された関係者の皆さまに深く敬意を表します。

目 次

はじめに

1. 大学の基本理念	
1) 基本理念	1
2) 学部・学科の特色	2
2. 沿革	4
3. 組織	
1) 組織図	6
2) 役職者	7
3) 教員数	7
4. 学年暦	8
5. 管理運営	
1) 総務会	12
(1) 学則・規程について	12
(2) 制度・組織・人事・業績・評価について	12
(3) 教育について	12
(4) 学生について	12
(5) 研究について	13
(6) 入学選考試験について	13
(7) 国際交流について	13
(8) 社会連携について	13
2) 教授会	13
3) 各種委員会活動	15
(1) 自己点検・評価委員会	15
(2) 産官学連携推進委員会	16
(3) 図書・情報委員会	17
(4) 教務委員会	17
(5) 学生委員会	19
(6) 入試・広報委員会	19
(7) FD・SD委員会	21
(8) 学務委員会	22
(9) 倫理委員会	24
(10) 危機管理委員会	25
4) 教育課程連携協議会	26

6. 大学の公開と広報	
1) 広報活動	27
7. 研究活動	
1) 事業創造学部事業創造学科	29
2) 情報学部情報学科	41
3) 外部資金の獲得・取組活動	50
(1) 文部科学省および日本学術振興会科学研究費補助金採択一覧表	50
8. 図書館	
1) 蔵書数	51
2) 年間受入冊数	51
3) 利用状況	51
4) データ推移	51
9. 学生関係	
1) 収容定員	52
2) 入試広報活動	52
3) 入学者選抜方法	52
4) 入学選考試験結果	53
5) 在籍学生数	53
6) 異動学生数	53
7) 学生生活	54
(1) 学生生活に関する指導	54
(2) オリエンテーション	54
(3) 健康診断	54
(4) 心理相談	54
(5) 奨学金制度	54
(6) 学友会	54
(7) 大学祭	54
(8) クラブ活動	55
(9) 学生表彰	55

1. 大学の基本理念

1) 基本理念

開志専門職大学設置認可申請書において、「大学設置の趣旨」は次のように記されている。

21世紀の経済社会において産業の高度化・グローバル化がより一層進む中、変化の激しい時代を主体的に生きる実践的な職業人が求められる。つまり、自己の職業における専門性の高度化とともに、幅広い教養を身に付け、複雑化する課題に対応できる実践力と変化への対応力、生涯において自己の能力を高めることのできる専門職業人が求められることとなる。自らの専門性を背景に生産性向上や競争力強化に貢献し、日本の強みや成長につながるイノベーション創出を担えることが専門職業人としての役割である。

以上のことから、専門職大学設置の目的と育成する人材像を次のように定め、「開志専門職大学」を設置することとした。

【開志専門職大学の目的】

本学は、専門分野における高度で実践的な専門性を身に付けると同時に、変化に対応する能力や生涯にわたり学び続ける力を備え、創造力と実践力をもって、新たな価値の創造を先導する人材を育成することにより、地域、日本、世界の発展に寄与することを目的とする。

【開志専門職大学の育成する人材像】

- ①経済社会、企業経営の中核的役割を担い、改善・革新や新たな価値を創造する先導役となる人材。
- ②産業の高度化がより一層進むことに伴い、複雑化する課題に対応できる実践力と創造力を持つ職業人材。
- ③高度な専門知識を持ち、各事業分野において地方都市の活性化に貢献し、日本経済全体の発展に寄与する人材。

本学の目的と育成する人材像を実現するために、また、各種の分野で専門職人材を育成するために下記のとおり「建学の精神」を掲げて、新たな時代の先導役となる人材を育成する。

【開志専門職大学の建学の精神】

- ①自学 ②挑戦 ③創造 ④貢献
- ①「教育を受ける」にとどまらず、自ら課題を設定し、自ら学ぶ人間になる。
- ②指示待ち人間ではなく、自らの判断で一歩前に踏み出す勇気のある人間を目指す。
- ③物事の大小を問わず、それぞれの分野、職業で独創性、創造性を発揮する人材となる。
- ④地域、日本、世界で活躍し、社会の発展に貢献する人間となる。

これらの建学の精神に基づき、実践的で特色のある教育を推進し、高い志を开花させ、誇り高い専門職を育成する。

【開志専門職大学の人材育成方針】

自己の職業における高度な専門的な知識と実践力を身に付け、その専門性をもって経済社会で新たな価値を創造できる即戦力として、新たな時代の先導役となる人材を育成する。

2) 学部・学科の特色

開志専門職大学設置認可申請書において、「学部・学科の特色」は次のように記されている。

事業創造学部

経済産業省では、「地域経済の活性化を図っていくためには、地域の潜在能力を結集してイノベーションを創出し、新事業・新産業を起こすことが必要」であるとしており、地域経済が自立的・持続的な成長を実現していくために、地域の「強み」である産地の技術や農林水産品などの地域資源を活用した中小企業の新商品・新サービスの開発・市場化を総合的に支援するための「中小企業地域資源活用促進法」の制定や地域が有する多様な強みや特長、潜在力等をより積極的に活用した新たな成長産業群の創出・育成を推進することを目的とする「地域新産業戦略推進事業」などを展開している。

一方、新潟県が策定した「にいがた未来創造プラン」では、政策展開の基本方向の中で、「厚みのある産業基盤や多様な地域資源など、地域の個性を大切にしながら、産業の振興と高付加価値化を図るとともに、本県の魅力や強みを最大限にアピールし、人流・物流の活発化の流れを本県の活力や賑わいにつなげていく」ことを掲げており、地域産業の振興と起業の促進や成長産業の育成に向けて、「高い付加価値を生み出す企業の創出・成長促進」、「起業・創業の推進」、「成長産業の創出・育成」などに取り組むこととしている。

このような国や地域が取り組む政策等を踏まえたうえで、事業創造学部では、「地域産業の発展を目的とした経済活動を展開するために必要となる基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、事業を創造することや事業を展開することの意義や役割について理解させるとともに、事業創造や事業活動を主体的、合理的、かつ倫理観をもって行い、地域経済の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる」ことを教育研究上の目的としている。

また、事業創造学部では、「職業人としての倫理観や道徳意識、起業家精神などを身に付け、起業家、事業承継者、企業内起業家として、事業活動や商品開発を行うために必要となる専門的な知識と能力に加えて、地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付けて、地域経済の活性化に貢献できる人材」を養成することとしている。

事業創造学部の特色は、新潟県が目指す「高い付加価値を生み出す企業の創出・成長促進」、「起業・創業の推進」、「成長産業の創出・育成」に対応すべく、「新潟県の地域振興、地域政策、地域課題などの地域事情の理解」及び「新潟県の産業基盤や地域資源についての理解」を図ることとし、そのための科目を、教育課程連携協議会との連携により、専門的な見地からの意見を反映して配置している。

具体的には、「地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力」のための科目として、「新潟と地域社会」、「新潟と地域政策」、「新潟と地域資源」、「地域資源活用の理論と方法」、「地域資源活用の事例研究」、「地域資源活用実習」を配置し、また、「消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付ける」のための科目としては、「デザイン・シンキング概論」、「ソーシャルデザインⅠ」、「ソーシャルデザインⅡ」、「ソーシャルデザイン実習」を配置している。

このように、事業創造学部では、地域創生や地域振興の視点から、「地域の魅力や特徴に関する知識を有し、地域の資源を新商品や新サービスに活用するための能力と消費者の視点に立って正しく問題を解決するための考え方を身に付けて、地域経済の活性化に貢献できる人材」を目指すこととしており、既設の大学の経済系・経営系学部との差別化と特色化を図ることとしている。

情報学部

第四次産業革命による AI、IoT、ビッグデータ等の急速な技術革新は、今後、社会・産業構造や就

業構造にも大きな変化をもたらすと想定されており、日本政府の科学技術政策の指針となる「第5期科学技術基本計画」の中で、「ICTを最大限に活用し、サイバー空間とフィジカル空間（現実世界）とを融合させた取組により、人々に豊かさをもたらす「超スマート社会」を未来社会の姿として共有し、その実現に向けた一連の取組を更に深化させつつ「Society5.0」として強力に推進し、世界に先駆けて超スマート社会を実現していく」と明記されている。

一方、平成28年6月の経済産業省「IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果」によると2030年にIT人材で約59万人が不足すると予測され、2020年には、ビッグデータ、IoT、人工知能を担う先端IT人材の不足数推計は約4.8万人、情報セキュリティ人材の不足数推計は約19.3万人と推計されており、2018年6月に閣議決定された「総合イノベーション戦略」の特に取組を強化すべき主要分野において、「2025年までに先端IT人材を年数万人規模、IT人材を年数十万人規模で育成・採用できる体制を確立する」としている。

また、新潟県が策定した新潟県総合計画「にいがた未来創造プラン」では、成長産業の創出や育成に向けて、「将来性が見込まれる産業分野及び新たな成長分野への県内企業の参入促進に向けた支援に努めるとともに、AIやIoT、ビッグデータなどの活用を促進することで生産性の向上を図り、本県産業の付加価値の向上を実現する」としている。

さらに、新潟県が策定した「新潟県情報化プラン」では、地域情報化として「新潟県『夢おこし』政策プラン」が掲げる「将来に希望の持てる魅力ある新潟県」の実現をICT活用の観点から推進し、快適・安全・豊かなくらしの実現や地域の活性化に取組む」としており、同様に、行政情報化として、「新潟県行政経営改革推進ビジョン」を踏まえて、「ICT活用による行政経営の高度化及び効率化の更なる推進に取組む」としている。

このような国や地域が取組む政策等への対応に向けて、情報学部では、「高度情報社会の発展を目的とした情報ビジネスを展開するために必要となる基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、変化に対応して、新たなモノやサービスを創り出すことについて理解させるとともに、情報ビジネスを主体的、合理的、かつ倫理観をもって行い、高度情報社会のさらなる進展を図るための創造的な能力と実践的な態度を育てる」ことを目的としている。

また、情報学部では、「情報分野の専門的な知識と技術及び技能の定着と実践力の深化を図り、実社会や職業とのかかわりを通して、高い職業意識や職業観と規範意識、人間関係力に根ざした実践力を高めるとともに、課題を探究し解決する基礎的な能力を養い、情報技術を生活様式や様々なサービスなどの充実と向上に活用できる創造的な能力を育てる」を養成することとしている。

情報学部の特色は、新潟県が掲げる「AIやIoT、ビッグデータなどの活用を促進することで生産性の向上を図り、本県産業の付加価値の向上の実現」に向けて、「地域社会や産業界を取り巻く現状の理解」及び「正しく問題を解決するための考え方とユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発することについての理解」を図ることとし、そのための科目を、教育課程連携協議会との連携により、専門的な見地からの意見を反映して配置している。

具体的には、「地域社会や産業界を取り巻く現状の理解」のための科目として、「新潟と地域社会」、「デザイン・シンキング概論」、「ソーシャルデザインⅠ」、「ソーシャルデザインⅡ」、「ソーシャルデザイン実習」を配置し、「正しく問題を解決するための考え方とユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発することについての理解」のための科目としては、「デザイン・シンキング実習Ⅰ」、「デザイン・シンキング実習Ⅱ」、「情報産業論」、「国際文化と伝統」、「社会心理・消費者行動」、「マーケティング」、「マーケティング実践」を配置している。

このように、情報学部では、地域創生や地域振興の視点から、「地域社会や産業界を取り巻く現状に関する知識の修得のもと、正しく問題を解決するための考え方とユーザーの視点に立った新商品や新サービスを企画・開発するための能力の育成」を目指すこととしており、既設の大学の情報系学部との差別化と特色化を図ることとしている。

2. 沿革

- 1995年（平成7年）3月 学校法人新潟総合学院設立認可
下記の学校を宗教法人愛宕神社より学校法人新潟総合学院に設置者を変更
新潟デザイン専門学校, 新潟ビジネス専門学校, NSG 高校進学予備校（各種学校）, 長岡情報ビジネス専門学校, 郡山情報ビジネス専門学校（福島）, 新潟コンピュータ専門学校, 新潟国際情報学院（高等専修学校）, アップル外語観光カレッジ
- 1997年（平成9年）4月 新潟会計ビジネス専門学校を開校
- 1999年（平成11年）4月 新潟公務員法律専門学校を開校
全日本ウインタースポーツ専門学校を開校
郡山テクノデザイン専門学校を開校（福島）
- 2000年（平成12年）4月 日本アニメ・マンガ専門学校を開校
国際ビューティモード専門学校開校
アップル外語観光カレッジの校名を国際エア・リゾート専門学校に変更
- 2001年（平成13年）3月 新潟国際情報学院（高等専修学校）を廃止
NSG 高校進学予備校（各種学校）を廃止
- 2002年（平成14年）4月 国際情報工科専門学校を開校（福島）
国際メディカルテクノロジー専門学校を開校（福島）
- 2003年（平成15年）4月 国際ビューティ・ファッション専門学校を開校（福島）
- 2004年（平成16年）4月 国際アウトドア専門学校を開校
国際エア・リゾート専門学校を学校法人国際総合学園へ設置者変更
- 2005年（平成17年）4月 郡山テクノデザイン専門学校の校名を国際アート&デザイン専門学校に変更
- 2006年（平成18年）4月 全日本ウインタースポーツ専門学校に高等課程を設置
- 2008年（平成20年）4月 伝統文化と環境福祉の専門学校を開校
- 2009年（平成21年）4月 国際アウトドア専門学校の校名を国際自然環境アウトドア専門学校に変更
国際情報工科専門学校の校名を専門学校国際情報工科大学校に変更
- 2013年（平成25年）4月 国際アート & デザイン専門学校に高等課程を設置
長岡情報ビジネス専門学校の校名を長岡公務員・情報ビジネス専門学校に変更
長岡こども・医療・介護専門学校を開校
- 2015年（平成27年）1月 上越情報ビジネス専門学校を設置者変更にて取得
郡山情報ビジネス専門学校の校名を郡山情報ビジネス公務員専門学校に変更
上越情報ビジネス専門学校の校名を上越公務員・情報ビジネス専門学校に変更
- 2017年（平成29年）4月 郡山情報ビジネス公務員専門学校の校名を国際ビジネス公務員大学校に変更
国際アート&デザイン専門学校の校名を国際アート&デザイン大学校に変更
国際メディカルテクノロジー専門学校の校名を国際医療看護福祉大学校に変更
専門学校国際情報工科大学校の校名を国際情報工科自動車大学校に変更
国際ビューティ・ファッション専門学校の校名を国際ビューティファッション・製菓大学校に変更
- 2018年（平成30年）3月 全日本ウインタースポーツ専門学校の高等課程を廃止
- 2018年（平成30年）4月 国際ビジネス公務員大学校, 国際アート&デザイン大学校, 国際医療看護福祉大学校, 国際情報工科自動車大学校, 国際ビューティファッション・製菓大学校を学校法人国際総合学園へ設置者変更
- 2019年（平成31年）4月 新潟法律大学校 開校
新潟ビジネス専門学校, 新潟コンピュータ専門学校, 新潟デザイン専門学校, 新

潟会計ビジネス専門学校, 全日本ウィンタースポーツ専門学校, 新潟公務員法律
専門学校, 日本アニメ・マンガ専門学校, 国際ビューティモード専門学校, 国際
自然環境アウトドア専門学校, 新潟法大学校を学校法人国際総合学園へ設置者変
更

2019年(令和元年)10月 伝統文化と環境福祉の専門学校を学校法人国際総合学園へ設置者変更

2020年(令和2年)4月 開志専門職大学 開学

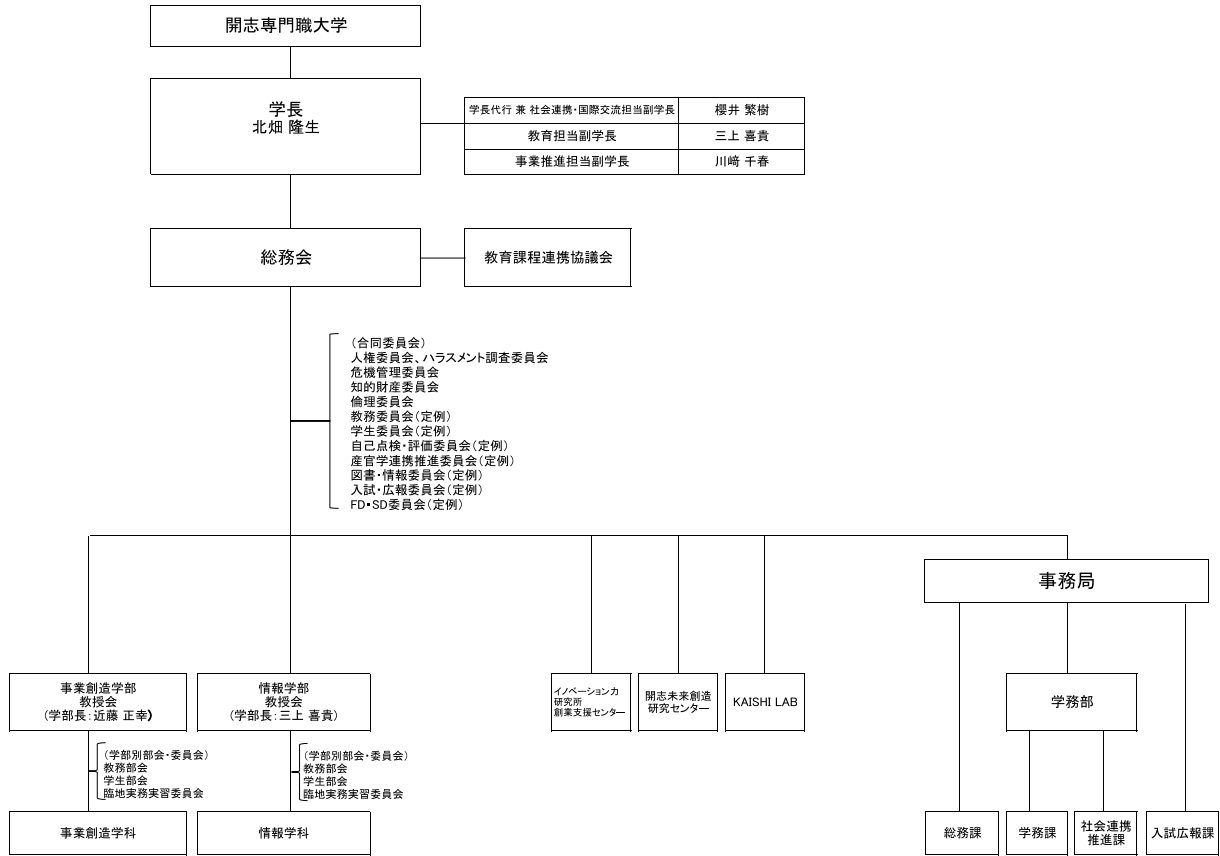
設置学部 学科: 事業創造学部 事業創造学科 情報学部 情報学科

2021年(令和3年)4月 開志専門職大学アニメ・マンガ学部アニメ・マンガ学科を設置

3. 組織

1) 組織図

2020年度(令和2年度) 開志専門職大学 組織図



2) 役職者

学長	北畑 隆生
学長代行 兼 社会連携・国際交流担当副学長	櫻井 繁樹
教育担当副学長	三上 喜貴
事業推進担当副学長	川崎 千春

事業創造学部長	近藤 正幸
情報学部長	三上 喜貴

イノベーション力研究所 創業支援センター

所 長	古屋 光俊
副所長	高松 孝光
顧 問	近藤 正幸

開志未来創造研究センター

センター長	西川 昌宏
-------	-------

KAISHI LAB

LAB 長	金宮 好和
副 LAB 長	田代 秀一

図書館長	常木 正則
------	-------

大学事務局長	権瓶 拓也
--------	-------

3) 教員数

開志専門職大学教員

学部等	学長	教授	准教授	講師	助教	助手	専任教員計
事業創造学部	(1)	10	6	2	1	1	20
情報学部		12	1	3	1	2	19
合 計	(1)	22	7	5	2	3	39

※学長を教授にカウントすると教授 23 名, 専任教員合計 40 名.

4. 学年暦

- 4月14日(火) ・第1回FD・SD研修会実施
テーマ：講義法について
講師：佐藤浩章 顧問
参加率：オンデマンドのため未算出
- 4月15日(水) ・辞令交付式
・教職員オリエンテーション(1日目)
- 4月16日(木) ・教職員オリエンテーション(2日目)
- 4月17日(金) ・教職員オリエンテーション(3日目)
- 4月20日(月) ・新入生オリエンテーション(1日目)
- 4月21日(火) ・新入生オリエンテーション(2日目)
- 4月22日(水) ・第1回開志専門職大学入学式挙行(WEB配信型)
- 4月23日(木) ・新入生オリエンテーション(3日目)
- 4月24日(金) ・新入生オリエンテーション(4日目)
- 4月27日(月)～5月1日(金)
・オンラインガイダンス授業実施(Teams)
- 5月11日(月) ・第1学期授業開始
- 5月11日(月)～6月26日(金)
・オンライン正規授業期間(Teams)
- 6月8日(月) ・学友会発足
- 6月20日(土) ・オープンキャンパス開催
- 6月29日(月) ・対面授業開始
- 7月6日(月)～7月7日(火)
・第1学期定期試験
- 7月8日(水) ・第2学期授業開始
- 7月12日(日) ・オープンキャンパス開催
- 7月13日(月) ・新型コロナウイルス感染者発生時の訓練シミュレーション実施
- 7月18日(土) ・オープンキャンパス開催
- 7月19日(日) ・オープンキャンパス開催
- 7月30日(木) ・学友会名称「専律会」が総会にて承認
- 8月1日(土) ・オープンキャンパス開催
- 8月9日(日) ・オープンキャンパス開催
- 8月8日(土)～8月16日(日)
・夏季休業期間
- 8月17日(月)～8月28日(金)
・オンライン正規授業期間(Teams)
- 8月22日(土) ・オープンキャンパス開催
- 8月23日(日) ・オープンキャンパス開催
- 8月24日(月)～25日(火)
・学生定期健康診断
- 8月31日(月) ・対面授業再開
- 9月9日(水)～9月10日(木)
・第2学期定期試験
- 9月12日(土) ・オープンキャンパス開催

- 9月25日(金) ・TOEIC Listening & Reading IP テスト実施
 受験者(希望者):事業創造学部5名、情報学部4名
 開催場所:紫竹山キャンパス
- 9月28日(月) ・第3学期授業開始
- 9月30日(水) ・事業創造学部臨地実務実習(企業内実習I) 学生向けオリエンテーション
- 10月10日(土) ・オープンキャンパス開催
- 10月24日(土) ・総合型選抜 A日程(事業創造学部・情報学部)
- 10月30日(金) ・第1回開志コラボセミナー開催
 会場:米山キャンパス 1階 Y102(開志未来創造研究センター)/ZOOM ウェビ
 ナー同時配信
- <第1部>
 テーマ:「開志専門職大学の概要・産官学連携活動に関して」
 挨拶:櫻井繁樹学長代行 兼 社会連携・国際交流担当副学長
 説明:権瓶拓也(大学事務局長)
 平川秀樹教授(産官学連携・国際交流委員会委員長)
- <第2部>
 テーマ:「ウィズ/アフターコロナの世界と産業」
 講師:株式会社 ICT ソリューション・コンサルティング
 代表取締役社長 富永孝 氏
- 11月1日(日) ・保護者会開催
- 11月4日(水) ・防災訓練実施(米山キャンパス)
- 11月7日(土) ・オープンキャンパス開催
- 11月16日(月) ・「アニメ・マンガ学部」設置認可
- 11月17日(火) ・防災訓練実施(紫竹山キャンパス)
- 11月23日(月)～11月24日(火)
 ・第3学期定期試験
- 12月2日(水) ・第1回情報学部FD 教育プログラム意見交換会
 参加率:94%
- 11月21日(土) ・学校推薦型選抜 公募型前期日程(事業創造学部・情報学部)
 ・学校推薦型選抜 指定校型(事業創造学部・情報学部)
- 11月25日(水) ・第4学期授業開始
 ・第2回FD・SD研修会実施
 テーマ:シラバス作成方法
 講師:佐藤浩章 顧問
 参加率:85%
- 12月12日(土) ・オープンキャンパス開催
 ・第2回開志コラボセミナー開催
 会場:紫竹山キャンパス 4階 S405・S406(大講義室)/ZOOM ウェビナー同時配
 信
 テーマ:「ユーザーイン経営～いかなる時代環境でも利益を出す仕組み~/起業家プロ
 グラム」
 講師:アイリスグループ会長 アイリスオーヤマ株式会社
 代表取締役会長 開志専門職大学客員教授
 大山健太郎 氏
- 12月19日(土) ・総合型選抜 B日程(事業創造学部・情報学部)

- ・学校推薦型選抜 公募型後期日程 (事業創造学部・情報学部)
- ・総合型選抜 A日程 (アニメ・マンガ学部)
- ・学校推薦型選抜 公募型 (アニメ・マンガ学部)
- ・学校推薦型選抜 指定校型 (アニメ・マンガ学部)
- 12月23日(水) ・事業創造学部臨地実務実習(企業内実習Ⅰ)実習報告会
- 12月24日(木)～1月3日(日)
 - ・冬季休業期間
- 1月4日(月)～1月15日(金)
 - ・オンライン正規授業期間 (Teams)
- 1月4日(月) ・大学ベンチャー投資ファンド「開志エンジェルファンド1号」設立
- 1月6日(水) ・第2回情報学部FD 教育プログラム意見交換会
参加率：94%
- 1月20日(水) ・第3回FD・SD研修会実施
テーマ/成績評価について
講師/佐藤浩章 顧問
参加率/85%
- 1月24日(日) ・総合型選抜 B日程(追加募集)(事業創造学部・情報学部)
・総合型選抜 A日程(追加募集)(アニメ・マンガ学部)
- 1月27日(木)～2月2日(火)
 - ・第3・第4学期定期試験
- 2月3日(水) ・第3回情報学部FD 教育プログラム意見交換会
参加率：88%
- 2月3日(水)～2月4日(木)
 - ・第4学期定期試験
- 2月5日(金) ・春季休業期間
・一般選抜個別試験型 第1次試験(学力試験)(事業創造学部・情報学部)
・一般選抜個別試験型 第1次試験(学力試験)(アニメ・マンガ学部)
- 2月18日(木) ・第4回FD・SD研修会実施
テーマ：大学職員について
講師：佐藤浩章 顧問
参加率：81%
- 2月20日(土) ・一般選抜個別試験型 第2次試験(面接試験)(事業創造学部・情報学部)
・一般選抜共通テスト利用型前期日程第2次試験(面接試験)(事業創造学部・情報学部)
・総合型選抜 B日程(アニメ・マンガ学部)
・一般選抜個別試験型第2次試験(面接試験)(アニメ・マンガ学部)
- 3月1日(月) ・情報学部春季講座(Python基礎講座1回目、Office講座1回目)
- 3月2日(火) ・情報学部 履修相談会(オンライン)
・情報学部春季講座(Office講座2回目)
- 3月3日(水) ・第4回情報学部FD 教育プログラム意見交換会
参加率：94%
- 3月4日(木) ・情報学部春季講座(Python基礎講座2回目)
- 3月5日(金) ・第1回教育課程連携協議会開催(情報学部)
・情報学部春季講座(Python基礎講座3回目)

- 3月7日(日) ・総合型選抜 C日程(事業創造学部・情報学部)
 ・一般選抜 共通テスト利用型後期日程第2次試験(面接試験)(事業創造学部・情報学部)
 ・総合型選抜 C日程(アニメ・マンガ学部)
- 3月8日(月) ・情報学部春季講座(Webプログラミング講座1回目)
 ・情報学部春季講座(Office講座3回目)
- 3月9日(火) ・情報学部春季講座(Webプログラミング講座2回目)
 ・情報学部春季講座(Office講座4回目)
- 3月10日(水) ・情報学部春季講座(Python基礎講座4回目)
 ・情報学部春季講座(Webプログラミング講座3、4回目)
- 3月11日(木) ・情報学部春季講座(Python基礎講座5回目)
- 3月12日(金) ・情報学部春季講座(Webプログラミング講座5回目)
 ・情報学部春季講座(Office講座5回目)
- 3月15日(月) ・第1回教育課程連携協議会開催(事業創造学部)
- 3月15日(月)～3月18日(木)
 ・情報学部春季講座(国家試験対策講座1～4回目)
- 3月16日(火) ・総合型選抜 D日程(アニメ・マンガ学部)
- 3月17日(水) ・事業創造学部臨地実務実習(新規商品開発・販売実習Ⅰ) 学生向けオリエンテーション
- 3月18日(木) ・AED講習実施(紫竹山キャンパス・米山キャンパス)
- 3月20日(土) ・オープンキャンパス開催
- 3月22日(月) ・第3回開志コラボシンポジウム開催
 開催：ZOOM オンライン
 <第1部 招待講演>
 テーマ：「新しいビジネス形態 個人の働き方と企業の形」
 講師：ランサーズ株式会社 CEvO 根岸泰之 氏
 <第2部 パネルディスカッション>
 テーマ：「地方企業におけるコラボと新しい働き方」
 パネリスト：
 ・ランサーズ株式会社 CEvO 根岸泰之 氏
 ・開志専門職大学
 古屋光俊教授(事業創造学部 イノベーション力研究所 創業支援センター所長)
 福田稔准教授(事業創造学部)
 土岐智賀子講師(事業創造学部)
 司会：
 ・開志専門職大学
 渡辺康英准教授(事業創造学部)
- 3月23日(火) ・総合型選抜 E日程(アニメ・マンガ学部)
 ・総合型選抜 D日程(事業創造学部)
- 3月29日(月) ・在学生オリエンテーション
 ・総合型選抜 F日程(アニメ・マンガ学部)
 ・総合型選抜 E日程(事業創造学部)

5. 管理運営

1) 総務会

(総務会構成員)

北畑隆生学長，櫻井繁樹学長代行兼副学長（社会連携・国際交流担当），三上喜貴副学長（教育担当）兼情報学部長兼法人事務局長，川崎千春副学長（事業推進担当）兼法人事務局長，近藤正幸事業創造学部長，江口五郎法人総務部長，本合和博法人企画部長，権瓶拓也大学事務局長兼法人事務局次長
主な審議・決定事項および報告事項

(1) 学則・規程について

- ・規程変更（危機管理マニュアル・危機管理マニュアル・学務委員会）報告
- ・倫理委員会の組織体制ならびに規程変更報告
- ・将来計画機構規程報告
- ・規程（産官学連携・国際交流委員会，臨地実務実習委員会）の変更報告

(2) 制度・組織・人事・業績・評価について

- ・人権委員会委員・ハラスメント調査委員会候補者の報告
- ・開志専門職大学客員教授の称号の付与に関する規程の報告
- ・ストレスチェック実施規程報告
- ・助手（情報学部）の採用報告
- ・開志専門職大学教員選考に係る申し合わせ報告
- ・助客員教授の追加報告
- ・育児介護休業法改正に伴う学内関連規程の改定報告
- ・開志専門職大学 学生弔慰金及び見舞金規程の承認
- ・将来計画機構，外部評価準備委員会の組織体制の報告
- ・2021 年度 開志専門職大学委員会組織の報告
- ・各種奨学団体奨学金被推薦者選考に関する申し合わせの報告
- ・情報セキュリティ基本方針の報告
- ・数理・データサイエンスセンターの正式組織化，KAISHI LAB 2021 年度組織体制の報告
- ・客員教授の追加報告
- ・規程及び細則変更（図書・情報委員会規程，履修・試験・成績評価）報告

(3) 教育について

- ・各学部・学科間の調整事項の報告
- ・教育研究環境の整備に関する報告
- ・数理・データサイエンス教育強化拠点 コンソーシアム会員校への参画についての報告
- ・図書館の利用ルール変更についての報告
- ・2021 年度 開志専門職大学 年間予定表（案）・学事暦（案）についての報告
- ・履修・試験・成績評価に関する細則の変更についての報告
- ・2021 年度 開志専門職大学委員会組織（案）についての報告

(4) 学生について

- ・保護者会の実施について
- ・学生が加入する保険の構成と学研災の全員加入申込みについての報告
- ・学生の生活，身分に関する重要な事項についての報告
- ・『開志ビジコン 2021』開催スケジュールと予算の骨子についての報告

- ・履修・試験・成績評価に関する細則の変更報告
- ・開志専門職大学個人研究費取扱規程についての報告
- ・アニメ・マンガ学部開設に伴う「学研災」への同学部生全員加入報告
- ・客員教授の追加報告

(5) 研究について

- ・知的財産委員会組織案についての報告
- ・各種研究所・センターの組織体制ならびに規程についての報告
- ・ヒトを対象とする研究倫理規程報告
- ・教育研究に関する全学的な重要事項についての報告
- ・AC 教員審査（事業創造学部「トップランナー研究」）報告
- ・開志専門職大学個人研究費取扱規程についての報告

(6) 入学選考試験について

- ・2020 年度オープンキャンパス日程報告
- ・入試要項についての報告
- ・特待生規程の改訂案についての報告
- ・学生の定員に関する報告
- ・2021 年度入学式日程・会場の報告
- ・2021 年度 入試概要予告の公表についての報告
- ・令和 3 年度入学予定者「入学前ガイダンス」についての報告
- ・入学選考試験（総合型選抜 B 日程）の追加実施についての報告

(7) 国際交流について

- ・国連アカデミック・インパクト への加盟報告

(8) 社会連携について

- ・開志コラボセミナーの報告

2) 教授会

(教授会構成員)

教授, 准教授, 講師, 助教

(準構成員)

助手

(オブザーバー)

事務局職員

主な審議・決定事項および報告事項

- ・2020 年度年間予定報告
- ・2020 年度入学者の内訳についての報告
- ・オンライン授業の進捗状況等についての報告
- ・学生フォローについての報告
- ・オフィスアワーの運用案についての報告
- ・科研費申請に係る研究者登録の事務局への連絡方法についての確認報告
- ・学費返還に関する問合せの対応についての報告
- ・対面授業開始の承認

- ・2021 年度入試に関する入試問題校正部会の承認
- ・2020 年度オープンキャンパス日程報告
- ・国連アカデミック・インパクトへの加盟報告
- ・人権委員会委員・ハラスメント調査委員会委員候補者についての報告
- ・学生フォロー面談についての報告
- ・授業や学生評価についての報告
- ・令和 2 年度「新潟県産学連携による人材育成・定着促進支援事業補助金」申請報告
- ・オンライン授業受講および対面授業により入構する学生への報告
- ・2020 年度のオープンキャンパス日程追加報告
- ・2021 年度入試概要の承認
- ・公的研究費の適正管理及び不正行為防止についての報告
- ・開志専門職大学客員教授の称号の付与に関する規程についての報告
- ・2020 年度 第 1 回 AC 教員審査結果承認
- ・2020 年度 科研費の獲得並びに応募状況についての報告
- ・公的研究費の適正管理及び不正行為防止についての報告
- ・対面授業開始後の授業運営についての報告
- ・期末試験に関する事項についての報告
- ・知的財産委員会組織についての報告
- ・対面授業開始後のガイドラインについての報告
- ・危機管理関連規程および学務委員会規程の変更についての報告
- ・学友会総会の開催並びに学友会名称・会則・役員選任決定報告
- ・新型コロナウイルス感染症に対する基本方針および対応についての報告
- ・2020 年度年間予定表・学事暦の更新についての報告
- ・特待生規程の改訂案について報告
- ・ストレスチェック実施規程についての報告
- ・開志コラボセミナー案についての報告
- ・保護者懇談会の開催についての報告
- ・2021 年度入学式日程・会場案についての報告
- ・令和 3 (2021) 年度科学研究費助成事業 (科研費) 公募申請スケジュール及び申請報告
- ・DMM 共同地域貢献事業 ミニ四駆ワークショップの開催についての報告
- ・ヒトを対象とする研究倫理規程についての報告
- ・開志専門職大学教員選考にかかわる申し合わせについての報告
- ・数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム会員校への参画申請報告
- ・保護者会開催報告
- ・米山キャンパス教室新型コロナ対策仕様レイアウトの変更についての報告
- ・各種研究所センターの組織体制ならびに規定についての報告
- ・倫理委員会の組織体制ならびに規程変更についての報告
- ・国連アカデミック・インパクトへの正式加盟報告
- ・AC 教員審査について報告
- ・ヒトを対象とする研究倫理審査結果についての報告
- ・冬季休業期間における新型コロナウイルス感染症に対する基本方針および対応についての報告
- ・将来計画機構規程についての報告
- ・履修・試験・成績評価に関する細則の変更についての報告
- ・研究倫理 e ラーニングの受講状況についての報告
- ・「緊急事態宣言」1 都 3 県の発令に伴う今後の対応についての報告

- ・ 育児介護休業法改正に伴う学内関連規程の改定報告
- ・ 「開志エンジェルファンド1号」プレスリリースについての報告
- ・ NaDeC BASE の視察報告
- ・ 2021 年度 開志専門職大学 年間予定表・学事暦報告
- ・ 補欠合格者の繰上方法承認
- ・ 開志専門職大学 学生弔慰金及び見舞金規程についての報告
- ・ 将来計画機構, 外部評価準備委員会の組織体制についての報告
- ・ 春季休業期間における新型コロナウイルス感染症に対する基本方針および対応についての報告
- ・ 補欠合格者の繰上方法についての報告
- ・ 新潟県への入県期限に関わる対応についての報告
- ・ 2021 年度辞令交付式・教職員オリエンテーション実施概要についての報告
- ・ 学籍異動(退学)についての報告
- ・ 『開志アイデアコンテスト 2021』についての報告
- ・ *2021 年度 開志専門職大学委員会組織についての報告
- ・ 規程の変更(産官学連携・国際交流委員会, 臨地実務実習委員会)についての報告
- ・ 開志専門職大学個人研究費取扱規程についての報告
- ・ 2021 年度入学式実施概要についての報告
- ・ 学籍異動(除籍)承認
- ・ 学籍異動(退学)承認

3) 各種委員会活動

(1) 自己点検・評価委員会

①委員名簿(委員会役職, 氏名, 所属)

委員長	後藤 幸功(情報学部)
副委員長	原岡 和生(事業創造学部)
委員	磯西 徹明(情報学部)
委員	松澤 孝紀(事業創造学部)
委員	高野 真司(事務局)
委員	草間 裕(事務局)
委員	岡田 正幸(事務局)

②会議開催回数 11 回

③審議事項および決定事項等

- 1) FD 委員会へ自己点検評価に関する FD・SD 研修の実施依頼について審議し可決した。
- 2) 2020 年度自己点検評価報告書の作成要領の内容について審議し可決した。
- 3) 2020 年度自己点検評価報告書の作成スケジュールについて審議し可決した。
- 4) 自己点検評価および認証評価に関する各委員会への依頼内容について審議し可決した。
- 5) 自己点検評価報告書作成のために, 分野別, 機関別認証評価機関の選定について審議し, 公益財団法人大学基準協会を選定した。
- 6) 自己点検評価に関する FD・SD 研修の参加者範囲を学長を含め全教職員にすることを審議し可決した。
- 7) FD・SD 研修後の参加者アンケートの結果の内容と FD・SD 委員会への報告に関する審議を行い可決した。
- 8) 2020 年度自己点検評価報告書の目次案の内容について審議し可決した。

9) 2020 年度自己点検評価報告書の目次案を総務会に提出することを審議し、可決した。

④特記事項

自身の委員会規定を確認し、委員会の業務内容を確認したところ、認証評価に関する件については、外部認証評価委員会が担うことを確認した。これにより自己点検評価報告書の目次案の提案では、外部認証評価委員会との連携を確認したうえで、外部認証評価委員会の開催を依頼するに至った。また、自己点検評価のためには将来計画が必要であるため、将来計画機構の開催も依頼することになった。

(2) 産官学連携推進委員会

①委員名簿（委員会役職、氏名、所属）

委員長	平川 秀樹（情報学部）
副委員長	渡辺 康英（事業創造学部）
副委員長	美甘 哲秀（事業創造学部）
委員	上野 衆太（情報学部）
委員	土岐智賀子（事業創造学部）
委員	福田 稔（事業創造学部）
委員	遠田 孝之（事務局）
委員	栗林 恭子（事務局）
委員	淡路 雅博（事務局）
委員	宮本真由美（事務局）
委員	安井 智章（事務局）
委員	谷内田真理（事務局）

②会議開催回数 11 回

③審議事項および決定事項等

- 1) 産官学連携推進委員会の規定を決定した。
- 2) 令和 2 年度「新潟県産学連携による人材育成・定着促進支援事業補助金」への申請が決定した。
- 3) 社会連携セミナーの名称を「開志コラボセミナー」と決定した。
- 4) 産学連携の方針を決定した。
- 5) 第 1 回開志コラボセミナーの開催が決定した。
- 6) 開志コラボセミナーPR 先として職能団体とすることが承認された。
- 7) 第 2 回開志コラボセミナーの開催が決定した。
- 8) 第 2 回開志コラボセミナーをオープンキャンパスと同日開催とすることが決定した。
- 9) 第 3 回開志コラボセミナーの開催が決定した。
- 10) セミナーアンケート産学連携興味有りの企業にコンタクトを取ることが決定した。
- 11) 第 3 回開志コラボセミナーをシンポジウム形式にて開催することが決定した。
- 12) 日本政策金融公庫新潟支店へ連携依頼を行うことが決定した。
- 13) 新潟県よろず支援拠点へ連携依頼を行うことが決定した。
- 14) 2021 年度開志コラボセミナーの計画が決定された。

④特記事項

- ・事業創造学部の臨地実務実習が実施された。
- ・水原中学校高等教育見学の受け入れが実施された。
- ・新潟商業高等学校高等教育見学の受け入れが実施された。

- ・DMM.make AKIBA コラボ「スマホで操作できる改造ミニ四駆制作ワークショップ」が開催された。
- ・五泉中学校高等教育見学の受け入れが実施された。
- ・村上第一中学校高等教育見学の受け入れが実施された。
- ・第1回ベルガモ大学との Zoom オンライン交流会が実施された。
- ・吉田特別支援学校高等学校高等教育見学の受け入れが実施された。
- ・第2回ベルガモ大学との Zoom オンライン交流会が実施された。
- ・事業創造学部の教育課程連携協議会が開催された。
- ・情報学部の教育課程連携協議会が開催された。

(3) 図書・情報委員会

①委員名簿（委員会役職，氏名，所属）

委員長（図書館長）	常木 正則（事業創造学部）
副委員長	大野 幸夫（情報学部）
委員	高嶋 洋一（情報学部）
委員	石川 秀才（事業創造学部）
委員	高野 真司（事務局）
委員	菅原 悠矢（事務局）
委員（司書）	谷井 陽子（事務局）

②会議開催回数 9回

③審議事項および決定事項等

- 1) 2020年度委員会活動計画について，承認された。
- 2) オンライン授業を行う上での情報倫理について，他大学を参考に本学として情報倫理規程をどのように定めるかということを決め，学生に対して周知をすべきと方向性を示された。また，情報倫理に関する専門部会を設立することが確認された。
- 3) 図書館予算図書費の基本方針について，シラバス掲載図書の購入については，4年分一括購入はせず1年目は1年目に使用する教科書および参考書のみを購入し，2年目以降は各授業担当教員へのヒアリングを基に購入をすることが確認された。
- 4) 所蔵新聞の保存期間を「1年間」とすることが承認された。
- 5) 新潟県大学図書館協議会加盟館の相互利用対応について，利用する際の基本方針としては，各学校に問い合わせをすること，またその他問い合わせについては本学の司書に連絡をすることが説明された。
- 6) 個人情報保護テストについて，2月末頃に実施する予定であることが説明され，継続審議となった。
- 7) 情報セキュリティポリシー作成について，草案をまとめる段階にあることが説明された。
- 8) 情報セキュリティ基本方針（案）について，完成予定時期は未定だが極力早期完成を目指すことが確認された。
- 9) 図書・情報委員会規程について，所掌事項を追加するため本委員会の規程変更を行うことが説明された。著作権関係については現段階では改定案に含めず，セキュリティおよび個人情報保護・管理についてのみ改定の対象とすることが確認された。

(4) 教務委員会

①委員名簿（委員会役職，氏名，所属）

委員長	徳田 賢二（事業創造学部）
副委員長	田代 秀一（情報学部）

委員	向	正道（事業創造学部）
委員	鈴木	源吾（情報学部）
委員	鈴木	弘明（事務局）
委員	遠田	孝之（事務局）
委員	淡路	雅博（事務局）
委員	水澤	駿介（事務局）
委員	須藤	麻衣（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 第1回, 教務委員会の目的・役割を確認した.
- 2) 第2回, 期末考査に関する調査票が審議の上, 決定された.
- 3) 第2回, 教職員オリエンテーションの資料やオンライン授業の配信用設備の紹介動画などを掲載するサイトの共有が決定した.
- 4) 第2回, 講義内における小テスト, 小レポートの取り扱いについて決定した.
- 5) 第2回, オフィスアワーの実施および開催方法が決定した.
- 6) 第3回, 期末試験実施要項が決定した.
- 7) 第3回, オフィスアワーの今後の開催方法として対面も認めることが決定した.
- 8) 第4回, 公欠制度を検討することが決定した.
- 9) 第4回, 成績評価に関する保留制度が審議の上, 決定した.
- 10) 第4回, 緊急時における授業の休講に関する取扱いを検討することが決定した.
- 11) 第5回, 緊急時における授業の休講に関する取扱いが決定した.
- 12) 第5回, 次年度に向けたシラバスの更新に関し, 検討することが決定した.
- 13) 第6回, 履修・試験・成績評価に関する細則について, 新設2学部の申請に伴う修正が決定された.
- 14) 第6回, 次年度に向けたシラバスの更新に関し, 「シラバスの研修会を開催すること」「シラバスの記載方法に関するマニュアルを作成すること」「シラバスの内容をチェックする学部ごとの専門部会を立ち上げること」が決定された.
- 15) 第6回, 期末試験実施要項の改定が決定した.
- 16) 第6回, 事業創造学部における選択科目の抽選方法について決定した.
- 17) 第7回, 公欠制度が決定した.
- 18) 第8回, シラバス見直し研修会について, 内容が審議の上, 決定した.
- 19) 第9回, 次年度の学事歴, 時間割が決定した.
- 20) 第9回, 情報学部の春季講座が承認された.
- 21) 第9回, シラバス見直し審査専門部会の担当者, スケジュールが決定した.
- 22) 第9回, コースに認定について検討することが決定した.
- 23) 第9回, 再履修クラスの検討が決定した.
- 24) 第10回, 履修相談会の開催とその内容検討が決定した.
- 25) 第10回, 情報学部のコース認定について決定した.
- 26) 第11回, 履修相談会の内容が決定した.
- 27) 第11回, 次年度クラス分けの方針が承認された.
- 28) 第11回, 次年度あらたに土曜講座を開催すること, 土曜講座と正課授業との連関について検討することが決定した.
- 29) 第12回, 土曜講座と正課授業との連関方針が決定した.

30) 第 12 回, 事業創造学部のトップランナー研究の開講時期変更が承認された。

(5) 学生委員会

①委員名簿 (委員会役職, 氏名, 所属)

委員長 堀川 桂太郎 (情報学部)
副委員長 平田 沙織 (事業創造学部)
委員 東城 歩 (事業創造学部)
委員 PANN YU MON (情報学部)
委員 淡路 雅博 (事務局)
委員 計良 圭一 (事務局)
委員 宮本真由美 (事務局)

②会議開催回数 11 回

③審議事項および決定事項等

- 1) 第 1 回, 学生委員会の目的・役割を確認した。
- 2) 第 2 回, 学生フォロー面談の結果集約とその対応について審議した。
- 3) 第 2 回, 学友会 (仮称) の発足が審議のうえ, 決定した。
- 4) 第 3 回, 対面授業開始における学生ケアである, 事業創造学部では全学生への面談, 情報学部では「プッシュ型なんでも相談」の実施が決定した。
- 5) 第 4 回, 大学祭の開催について審議された。
- 6) 第 5 回, 大学祭の中止が決定した。
- 7) 第 5 回, サークルの顧問就任に関する, 業務分掌が決定した。
- 8) 第 6 回, 学生フォロー面談の結果について総括および対応を審議した。
- 9) 第 7 回, 県人会の組織が決定した。
- 10) 第 7 回, 学生の不正行為について対応を審議し, 対応を決定した。
- 11) 第 7 回, 入学前スクーリングの実施が決定した。
- 12) 第 8 回, 入学前スクーリングの内容が審議された。
- 13) 第 8 回, 学生フォロー面談の実施が決定した。
- 14) 第 9 回, 情報学部春季講座の開催および内容が審議の上, 決定した。
- 15) 第 9 回, 入学前スクーリング改め入学前ガイダンスの内容が審議された。
- 16) 第 9 回, 次年度に向けて新しい奨学金の検討が決定した。
- 17) 第 9 回, 次年度に向けて新しい就学支援策の拡充検討が決定した。
- 18) 第 10 回, 事業創造学部および情報学部の次年度担任制度について, 審議された。
- 19) 第 10 回, 入学前ガイダンスが動画視聴形式となることが決定した。
- 20) 第 11 回, 次年度の担任制度が決定した。
- 21) 第 11 回, 学生への学生生活に関する注意喚起を行うことが決定した。

(6) 入試・広報委員会

①委員名簿 (委員会役職, 氏名, 所属)

委員長 高松 孝光 (事業創造学部)
副委員長 宮元万葉美 (情報学部)
副委員長 星 和樹 (事業創造学部)
委員 平田 沙織 (事業創造学部)
委員 柄沢 直之 (情報学部)

委員	宿野部千尋（事務局）
委員	柳沼つぐみ（事務局）
委員	松田 和也（事務局）
委員	渡辺 一朋（事務局）
委員	多賀 祥治（事務局）
委員	藤原 詩子（事務局）
委員	高島 徹（事務局）

②会議開催回数 12回

③審議事項および決定事項等

- 1) 2020年度オープンキャンパス及び2021年度入学選考試験の日程について、2020年度開志専門職大学年間予定表に基づいて報告され、6月以降のオープンキャンパスは非常事態宣言の状況を鑑みて、追加、修正など対応することが確認された。
- 2) オープンキャンパスの各日程におけるプログラム概要について審議し、決定した。
- 3) オープンキャンパスの各日程における参加状況について内容が確認された。
- 4) 入試広報関連の広報物の作成および発行について内容が確認された。
- 5) 2020年度入学者数について内容が確認された。
- 6) 2021年度入試概要<予告>について審議され、公表することが決定した。
- 7) 「高等学校の臨時休業の実施等に配慮した令和3年度大学入学者選抜における総合型選抜及び学校推薦型選抜の実施について（通知）」について内容が確認された。
- 8) 7月・8月のオープンキャンパス日程の追加開催について審議し、決定した。
- 9) 入試問題作成部会および入試問題検討部会について審議し、担当者を決定した。
- 10) 2021年度入学者選抜における特待生について審議され、決定した。
- 11) 大学入学者選抜・教務関係事項連絡協議会について、新型コロナウイルス感染症の予防対策により実施が中止になったことが確認された。
- 12) 令和3年度大学入学者選抜実施要項について、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を盛り込んだ入試実施概要および実施スケジュール、Web面接導入、一般選抜における罹患受験者への対応について検討が必要であることが確認された。
- 13) 2021年度指定校推薦入試について審議し、決定した。
- 14) 2021年度入試概要について審議し、その大要を決定した。
- 15) 2021年度入学選考試験の試験区分別各種評価表について審議し、決定した。
- 16) 大学案内の増刷に伴う内容更新について内容が確認された。
- 17) 新潟地区大学入学共通テスト連絡会議について内容が確認された。
- 18) 2021年度入学選考試験の県外試験会場について内容が確認された。
- 19) 2021年度入学選考試験における教員の人員配置について審議し、決定した。
- 20) 2021年度入学選考試験の試験区分別の実施概要について審議し、決定した。
- 21) 2021年度入学選考試験の試験区分別の合否判定配点について審議し、決定した。
- 22) 2021年度学生募集要項について内容が確認された。
- 23) 2021年度入学選考試験における合否判定スケジュールについて審議し、決定した。
- 24) 学校見学会と出張講義の受入状況について内容が確認された。
- 25) 2021年度国際観光学部、アニメ・マンガ学部入試概要について内容が確認された。
- 26) 2021年度入学選考試験の小論文試験の採点について審議し、決定した。
- 27) 2021年度国際観光学部、アニメ・マンガ学部の申請状況について、国際観光学部の設置認可申請取り下げ、アニメ・マンガ学部の継続審査が確認された。

- 28) 教育広報の発信について審議し、決定した。
- 29) 2021 年度入学選考試験の試験区分別の書類評価方法および面接評価表の体裁について審議し、決定した。
- 30) トータルガイドの情報更新と HP 更新スケジュールについて内容が確認された。
- 31) 2021 年度入学選考試験の一般選抜第 2 次試験における面接評価方法について審議し、決定した。
- 32) 2021 年度入学選考試験の一般選抜共通テスト利用型における特例追試験受験者の対応について審議し、決定した。
- 33) 2020 年度オープンキャンパス実施状況および 2021 年度オープンキャンパスの方向性について内容が確認された。
- 34) 2021 年度大学入学共通テストについて、新潟医療福祉大学、新潟食料農業大学との 3 大学共同実施になること、新潟大学試験場へ教職員を派遣予定であることが確認された。
- 35) 2021 年度入学選考試験時に体調不良を申し出た受験者への対応について内容が確認された。
- 36) 2021 年度入学選考試験において 1 月 24 日総合型選抜 B 日程（追加募集）を実施することが確認された。
- 37) 2021 年度年間スケジュール（事業推進）について審議され、検討されることが確認された。
- 38) 高校向け施策およびキャンパス見学受入について審議され、再審議が決定した。
- 39) 2021 年度入学選考試験 3 月のスケジュールにおいて D 日程、E 日程、F 日程を追加実施することが確認された。
- 40) 新 HP の進捗について内容が確認された。
- 41) 出張模擬授業について内容が確認された。
- 42) 2021 年度入学選考試験の補欠合格者の繰上方法について審議し、決定した。
- 43) 2022 年度入学選考試験実施概要について審議され、決定した。

(7) FD・SD 委員会

①委員名簿（委員会役職、氏名、所属）

委員長	西村 伸也（事業創造学部）
副委員長	金宮 好和（情報学部）
委員	土岐智賀子（事業創造学部）
委員	西川 浩平（情報学部）
委員	江口 五郎（事務局）
委員	遠田 孝之（事務局）
委員	淡路 雅博（事務局）
委員	須藤 麻衣（事務局）
委員	水澤 駿介（事務局）

②会議開催回数 11 回

③審議事項および決定事項等

- 1) FD・SD 研修会の内容検討及び実施について審議した。
- 2) 情報学部の教育プログラム意見交換会を FD 活動として承認した。
- 3) 授業評価アンケートについて内容の検討並びに実施・運用について審議した。
 - ・授業評価アンケートの個別の集計結果は学内のみの公開とすることを決定した。
 - ・授業評価アンケートの匿名性担保についてアンケート前文に加えた。
 - また、教職員に対してアンケートの匿名性を通知することを決定した。
 - ・授業評価アンケートの問 6 を全体平均に含めないことを決定した。

④特記事項

1) 2020 年度 FD・SD 研修会実施

- ・第 1 回 FD・SD 研修会
実施日：4 月 14 日（火）
テーマ：「講義法について」
講 師：佐藤浩章 顧問
参加率：オンデマンドのため未算出
- ・第 2 回 FD・SD 研修会
実施日：11 月 25 日（水）
テーマ：「シラバス作成方法」
講 師：佐藤浩章 顧問
参加率：85%
- ・第 3 回 FD・SD 研修会
実施日：1 月 20 日（水）
テーマ：「成績評価について」
講 師：佐藤浩章 顧問
参加率：85%
- ・第 4 回 FD・SD 研修会
実施日：2 月 18 日（木）
テーマ：「大学職員について」
講 師：佐藤浩章 顧問
参加率：81%

2) 情報学部 教育プログラム意見交換会

- ・第 1 回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会
実施日：12 月 2 日（水）
参加率：94%
- ・第 2 回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会
実施日：1 月 6 日（水）
参加率：94%
- ・第 3 回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会
実施日：2 月 3 日（水）
参加率：88%
- ・第 4 回情報学部 FD 教育プログラム意見交換会
実施日：3 月 3 日（水）
参加率：94%

(8) 学務委員会（事業創造学部）

①委員名簿（委員会役職，氏名，所属）

委員長	西村 伸也（事業創造学部）
副委員長	福田 稔（事業創造学部）
委員	石川 秀才（事業創造学部）
委員	渡辺 康英（事業創造学部）
委員	松澤 孝紀（事業創造学部）
委員	東城 歩（事業創造学部）

委員 江口 五郎 (事務局)
委員 遠田 孝之 (事務局)
委員 栗林 恭子 (事務局)

②会議開催回数 11 回

③審議・決定事項および報告事項

- 1) 今年度の臨地実務実習について、新型コロナウイルス禍の企業状況を考慮し、オンライン（学生はキャンパスに登校し、オンラインで実習先企業から指導を受ける形式）を活用した臨地実務実習について審議した。
- 2) 1 日の実習の流れについて審議した。
- 3) 各回の実習内容について審議した。
- 4) 受け入れ企業の調整状況について確認し、企業開拓の実行計画について審議した。
- 5) 教員の担当について審議した。
- 6) 学生向けオリエンテーションについて審議した。
- 7) 企業向けオリエンテーションについて審議した。
- 8) 希望調査、実習日誌等帳票について審議した。
- 9) Teams を使用した授業の流れについて確認をおこなった。
- 10) 実習日誌の提出方法について審議した。
- 11) ビジネスマナーのプログラムについて審議した。
- 12) 臨地実務実習における学生指導担当の割り振りをおこなった。
- 13) 成績評価・遅刻欠席への対応方法について審議した。
- 14) 2021 年度臨地実務実習ワーキンググループ設置について審議した。
- 15) 実習報告会の進め方について審議した。
- 16) 学生フォロー面談について進め方を確認した。
- 17) 企業担当者と教員とのミーティング実施について審議した。
- 18) 次年度臨地実務実習「新規商品開発・販売実習 I」準備状況について報告された。
- 19) 第 2 回企業・教員間ミーティングの日程について調整をおこなった。
- 20) 次年度臨地実務実習「新規商品開発・販売実習 I」の企業開拓状況とその対策について確認がおこなわれた。
- 21) 2020 年度企業内実習 I の成績評価について審議した。
- 22) アイリスオーヤマの実習参加について報告検討された。

(8) 学務委員会 (情報学部)

①委員名簿 (委員会役職, 氏名, 所属)

委員長 磯西 徹明 (情報学部)
副委員長 鈴木 源吾 (情報学部)
委員 上野 衆太 (情報学部)
委員 柄沢 直之 (情報学部)
委員 淡路 雅博 (事務局)
委員 宮本真由美 (事務局)

②会議開催回数 10 回

③審議事項および決定事項等

- 1) 第 1 回, 情報学部・学務委員会の目的・役割(情報学部臨地実務実習の円滑な遂行)を確認した。
- 2) 第 1 回, 臨地実務実習 I・II の概要, 目的, 評価方法, 実習先確保状況等, を委員全員で確認し, 2020 年度中に新規の実習先開拓を行う必要があることを確認した。
- 3) 第 2 回, 今後の概略工程表が承認された。
- 4) 第 3 回, 実習先と教員の割当のため, 教員アンケートを実施した。
- 5) 第 4 回, 実習先と教員の割当が決定した。
- 6) 第 4 回, 企業訪問の際, 統一した企業訪問用資料(企業訪問時にご説明する資料)を作成することが決定した。
- 7) 第 5 回, 教員による実習先の開拓結果を基に実習先の追加が承認された。
- 8) 第 5 回, 統一した企業訪問用資料が承認された。
- 9) 第 6 回, 計画に基づき実習先候補の企業の状況を確認。当初計画されていた企業で受け入れが困難な企業が報告された。
- 10) 第 6 回, 実習受け入れに際し, レンタル PC やポケット WiFi など必要な機器については, 企業の意向を確認のうえ, 大学が手配することが決定した。
- 11) 第 6 回, 実習までの期間に学生へビジネスマナー指導を行うことが決定した。
- 12) 第 7 回, 教員による企業訪問結果を踏まえ, 実習先企業のさらなる開拓が必要であり, 学務委員会メンバーで実施していくことが決定した。
- 13) 第 7 回, 実習中にドロップアウトした学生への対応を協議した。
- 14) 第 8 回, 新規開拓した実習先の追加が承認された。
- 15) 第 9 回, 学生向けのオリエンテーションの日程及び概要を決定した。
- 16) 第 9 回, 次年度の「臨地実務実習 I」の実習受入人数が充足する見込みであることを確認した。
- 17) 第 9 回, 実習後の成果報告会について検討することが決定した。
- 18) 第 10 回, 実施協定書の締結状況を確認し, 進捗に問題ないことを確認した。
- 19) 第 10 回, 学生向けのオリエンテーションの資料を確認した。
- 20) 第 10 回, 学生の実習先配属方法の方針を決定した。

(9) 倫理委員会

①委員名簿(委員会役職, 氏名, 所属)

委員長	三上 喜貴(情報学部)
副委員長	西村 伸也(事業創造学部)
委員	宮元万葉美(情報学部)
委員	星 和樹(事業創造学部)
委員	土岐智賀子(事業創造学部)
委員	高山 裕司(顧問)
委員	高野 真司(事務局)
委員	草間 裕(事務局)

②会議開催回数 1 回

③審議事項および決定事項等

審査件数: 3 件(新規 3 件)

審査結果: 承認 3 件

1) 申請者名 島田 健太郎(事業創造学部)

課題名 起業教育の効果に関する研究 - 企業内実習 I の事例 -

承認番号 001-201014

2) 申請者名 福田 稔 (事業創造学部)

課題名 開志専門職大学が実施する臨地実習科目における教育手法確立と履修者の能力伸長に関するメカニズムの解明について

承認番号 002-201014

3) 申請者名 西川 浩平 (情報学部)

課題名 ITSM を応用した在宅療養者と訪問看護ステーション間の体調相談管理システム開発と検証

承認番号 003-201014

(10) 危機管理委員会

①委員名簿 (委員会役職, 氏名, 所属)

委員長	北畑 隆生 (学長)
委員	櫻井 繁樹 (事業創造学部)
委員	三上 喜貴 (情報学部)
委員	川崎 千春 (副学長)
委員	近藤 正幸 (事業創造学部)
委員	堀川桂太郎 (情報学部)
委員	徳田 賢二 (事業創造学部)
委員	権瓶 拓也 (事務局)
委員	江口 五郎 (事務局)
委員	高野 真司 (事務局)
委員	多賀 祥治 (事務局)

②会議開催回数 7回

③審議事項および決定事項等

- 1) 新型コロナウイルス感染症に対する基本方針及び対応について決定された。(2020年7月22日)
- 2) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う本学の対応について決定された。(2020年8月5日)
- 3) 新型コロナウイルス感染症に対する基本方針および対応について(9月4日更新)決定された。(2020年9月2日)
- 4) PCR検査に対する本学の方針について決定された。(2020年9月2日)
- 5) 冬期休業期間における新型コロナウイルス感染症に対する基本方針および対応について決定された。(2020年11月24日)
- 6) 1都3県を対象とした「緊急事態宣言」が発令されたことに伴う本学の対応について決定された。(2021年1月8日)
- 7) 春季休業期間における新型コロナウイルス感染症に対する基本方針および対応について決定された。(2021年2月2日)

④特記事項

- ・2020年7月13日に新型コロナウイルス感染症が本学で発生した際の訓練シミュレーションを行った。

4) 教育課程連携協議会

- ・第1回 事業創造学部 教育課程連携協議会が開催された。
開催日：2021年3月15日(月)
- ・第1回 情報学部 教育課程連携協議会が開催された。
開催日：2021年3月5日(金)

6. 大学の公開と広報

1) 広報活動

(1) 各種広報物の作成

- ・大学案内パンフレット ・募集要項 ・入試ガイド ・オープンキャンパス案内 DM
- ・出張講義リーフレット 等

(2) ホームページの管理・運営

- ・リニューアルによる大学情報の充実
- ・動画での情報発信
- ・入学選考試験概要等の入試情報の発信
- ・学部学科情報、在校生の様子、オープンキャンパス、入学選考試験等の大学情報の発信
- ・教育研究上の目的、授業科目等の教育情報公開に係る情報発信
- ・大学トピックス、ニュース掲載 年間 141 本
- ・大学公式 SNS 設置および情報発信 (Instagram、Facebook、Twitter、YouTube、LINE)
- ・SEO (内部・外部) 施策の充実

(3) オープンキャンパスの実施

年間 13 回開催

6 月 (1 回)、7 月 (3 回)、8 月 (4 回)、9 月 (1 回)、10 月 (1 回)、11 月 (1 回)、12 月 (1 回)、3 月 (1 回)

(4) 進路相談会等への参加

- ・会場ガイダンス
- (ブース参加) 22 会場※オンライン参加 3 会場含む
- ・高校内ガイダンス 104 校※オンライン参加 10 校含む
- ・高校出張講義 19 講座
- ・大学見学の受入れ 1 団体

(5) メディア広報

TVCM

- ・8 月 OC 動員に向けて新潟県、長野県、山形県、福島県にて実施。
8/1・9OC 告知 CM…7/20～8/6
8/22・23OC 告知 CM…8/13～8/20
- ・9 月 OC 動員に向けて新潟県、長野県、山形県、福島県にて実施。
9/21OC 告知 CM…9/11～9/20
- ・10 月 OC 動員に向けて新潟県にて実施。
10/10OC 告知 CM…9/27～10/9
- ・認知強化に向けて新潟県にて実施。
11/6～12/18 (毎週金曜日)
- ・12 月 OC 動員に向けて新潟県にて実施。
12/12OC 告知 CM…11/13～11/29
- ・アニメ・マンガ学部認知、全学部認知強化に向けて 2 種、新潟県、長野県、山形県、福島県にて実施。
12/4～1/11
- ・認知強化に向けて新潟県にて実施。

1/12～2/14

- ・入試告知のため新潟県、長野県、山形県、福島県にて実施。
～3/23（火）

新聞広告

- ・入試告知のため、長野県の地元紙（信濃毎日新聞）にて実施。

10/10

- ・入試告知 + 認知強化のため、新潟県、秋田県、山形県、福島県、長野県、群馬県、富山県、石川県の各地元紙に加え読売新聞にて実施。

2/27～2/28

メディア出演

- ・学長 BS11「インサイド OUT 特別編 リベラルタイム」出演
9/18 放映

パブリシティ掲載

- ・年間 33 件（TV、新聞、WEB 等）

(6) その他

高校訪問

6 月、8 月、9 月、11 月に新潟県内主要校を中心に実施。

首都圏説明会

日本語学校教員対象説明会

8/24 【対象校】京進ランゲージスクール

出張進路相談会

6 月～1 月にかけて実施。

新潟県内 14 会場

新潟県外 16 会場

コンソーシアム新潟への参加

7. 研究活動

1) 事業創造学部事業創造学科

氏名：近藤 正幸

1 研究題目

1. 日本企業の現地頭脳活用とイノベーション・ネットワークのアジア戦略, 2. インターンシップの効果

2 学会等研究発表

1. 近藤正幸. タイの大学の産業界への技術サービスの成功モデル. 研究・イノベーション学会 (オンライン), 2020.10.31-11.1 (一般発表)
2. 近藤正幸. 国際特許創出のアジア・シフトと日本企業のアジアにおける国際特許創出. 研究・イノベーション学会 (オンライン), 2020.10.31-11.1 (一般発表)
3. 山本創造, 近藤正幸. タイ工科系大学の学生の進路選択における 日本でのインターンシップ経験の影響. 研究・イノベーション学会 (オンライン), 2020.10.31-11.1 (一般発表)

3 学会活動

1) 所属学会

研究・イノベーション学会

2) 学会等の役職

研究・イノベーション学会 評議員

Honorary Advisor, Asian Journal of Technology Innovation

Member of Editorial Board, DLSU Business & Economics Review, De La Salle University

Member of Editorial Board, International Journal of Foresight and Innovation Policy

4 社会活動

1) TV 出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

(出演したメディアの種類・番組・掲載紙名, タイトル・放映内容, 開催年月日の順に記載)

- ・日経産業新聞 Techno Salon, イノベーションは標準を超えてこそ, 2020.4.21
- ・日経産業新聞 Techno Salon, コロナ対策のオンラインが社会を変える, 2020.5.18
- ・日経産業新聞 Techno Salon, 国際特許出願, アジアが中心に, 2020.9.15
- ・日経産業新聞 Techno Salon, 身近で実用的「富岳」の真価, 2020.10.13
- ・日経産業新聞 Techno Salon, インターンシップ 外国人獲得に有効, 2020.11.17
- ・日経産業新聞 Techno Salon, 学会はハイブリッド時代に突入か, 2021.1.27
- ・日経産業新聞 Techno Salon, 中国, 特許出願で米に攻勢続く, 2021.3.3

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

- ・2020, 基盤研究 (C), 日本企業の現地頭脳活用とイノベーション・ネットワークのアジア戦略, 近藤正幸 (新規)

氏名：櫻井 繁樹

1 研究題目

1. 主要な研究分野は, 資源・エネルギー政策であり, とりわけ, SDGs・地球環境問題, ものづくり産業も含めた地球社会の将来を展望する文理融合・包括的な資源・エネルギー政策に係る研究.

2 著書

1. 池田裕一 (編), 櫻井繁樹 (分担執筆) ほか. 共著. 実践する総合生存学. 1 版. 京都: 京都大学学術出版会; 2021: 第 5 章 “再生可能エネルギーは人にも優しいか?” (書籍) (発刊済)

3 論文

1. Shutaro Takeda, Shigeki Sakurai and Satoshi Konishi. 共著 (コレスポンディングオーサー). “Economic

- Performance of Fusion Power Plant on Deregulated Electricity Markets”. Journal of Fusion Energy. 2020 ; 39 : 31-39 (原著論文) (発刊済)
2. Tanaka, Y., Chapman, A., Tezuka, T., & Sakurai, S. 共著 (コレスポンディングオーサー). Putting the process into the policy mix: Simulating policy design for energy and electricity transitions in Japan. Energy Research & Social Science. 2020 ; 70 (原著論文) (発刊済)
 3. Tanaka, Y., Chapman, A., Tezuka, T., & Sakurai, S. 共著 (コレスポンディングオーサー). Multiple Streams and Power Sector Policy Change: Evidence from the Feed-in Tariff Policy Process in Japan Politics and Policy. 2020 ; 48 (3) : 464-489 (原著論文) (発刊済)
- 4 報告書
1. 櫻井繁樹ほか 16 名. 受託研究 (独立行政法人国際協力機構). 『途上国における持続可能な再生可能エネルギー開発にかかる社会経済研究』. 研究成果報告書. 2017-2020 (研究代表者)
- 5 学会活動
- 1) 所属学会
 - AusIMM (豪州鉱産物資源学会) Fellow 会員, SME (米国資源学会) 正会員, 資源・素材学会 正会員
- 6 社会活動
- 1) TV 出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等
 - (出演したメディアの種類・番組・掲載紙名, タイトル・放映内容, 開催年月日の順に記載)
 - ・ SIEDOO (インドネシア教育ニュース), 地熱資源プロジェクトによる京都大との連携強化, 2020.7.22
 - 2) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の名称と役職
 - ・ KYOTO STEAM 事業創発・未来フォーラム 2021 (京都市主催); KYOTO DAIRI PROJECT 実行委員会委員長
 - ・ 「TEAM EXPO 2025」共創チャレンジ (2025 年日本国博覧会協会主催); 京都大学大学院総合生存学館アートイノベーション産学共同講座コアメンバー
- 7 その他の教育研究活動
- 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
 - ・ 2020, 科学技術振興機構委託研究 研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム, 地熱生産井掘削地点特定用の蒸気スポット検出技術の高精度化とボーリングによる実証, 研究分担者 (新規)
 - 2) 学外兼務講師等
 - ・ 京都大学大学院総合生存学館特任教授, 2020.10.1-
 - ・ 京都光華女子大学 客員教授, 2020.4.1-

氏名：常木 正則

- 1 研究題目
 1. 基礎科目「日本語コミュニケーション」教育の最適化研究
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会
 - 人文科教育学会, 新潟大学教育学部国語国文学会

氏名：徳田 賢二

- 1 研究題目
 1. 市場流通・消費システム 仕組み・機能, 2. 地域・都市経済の構造, 政策, 制度, 3. イノベーション 地域・企業・産業
- 2 著書
 1. 徳田賢二, 単著. 値段がわかれば社会がわかる～はじめての経済学～. 1 版. 東京：筑摩書房；2021：1-208 (新書)

3 論文

1. 徳田賢二, 李春霞. 共著. 家計構造変化の社会経済的な影響～全国消費実態調査(1989～2004) 個票データによる分析～. 専修経済学論集(専修大学経済学会). 2020; 第55巻1号: 67-107(原著論文)(発刊済)
2. 徳田賢二. 単著. 書評『QRコードの奇跡』(小川進著). 日本経済新聞. 2020; (2020)(発刊済)

4 学会活動

1) 所属学会

行動経済学会, 日本経済政策学会, 企業と社会フォーラム

2) 学会等の役職

公益財団法人川崎市産業振興財団 新産業政策研究所 客員研究員, 専修大学社会科学研究所 研究参与

5 社会活動

1) TV 出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

(出演したメディアの種類・番組・掲載紙名, タイトル・放映内容, 開催年月日の順に記載)

・日本経済新聞, 「コロナで変わる統計調査-対面難しく質の維持重要」に関わる取材, 2020.6

2) 公的機関(官公庁等)の審議会, 委員会等の名称と役職

川崎市農業振興計画推進委員会(副座長), 川崎市福祉製品等開発支援補助金審査委員

氏名: 西村 伸也

1 研究題目

1. 設計方法論: 創造的な建築デザインの仕組み, 2. まちづくり研究: 実践的まちづくりの方法とその教育効果, 3. 学校研究: 小中一貫校と教科教室型での児童・生徒の行動様態, 4. 町家研究: 町家の平面構成・配置の特性とダシアイ・ヒアワイの使われ方, 5. 海外居住: カンを持つ中国の民家の空間特性, 6. 海外居住: 天井(テンジン)を持つ中国民居の空間構成とその使われ方, 7. 海外居住: ベトナムの伝統的な住居の住まい方とその温熱環境特性, 8. 海外居住: モンベルにある民家の depse の役割と配置計画の特性

2 論文

1. 鈴木晋, 西村伸也, 高橋鷹志, 棒田恵, 黒野弘靖, 和田浩一, 梅野勇. 共著(コレスポンディングオーサー). 蒸暑地の住居での半屋外空間が持つ社会的持続性と環境的持続性を両立させる仕組の解明. 日本建築学会計画系論文集 JCR. 2020; 85: 2329-2337(原著論文)(発刊済)
2. タムマオシェン, 棒田恵, 西村伸也. 共著(コレスポンディングオーサー). マレーシアの学校における生徒の生活空間に関する研究 中高一貫校の空間利用のアンケート調査. 日本建築学会北陸支部研究報告集(63), pp.373-376. 2020; 63: 373-376(原著論文)(発刊済)
3. 佐藤寛人, 棒田恵, 西村伸也, 山口華歩, 津野翼, 佐々木夏穂. 共著(コレスポンディングオーサー). 世代間交流からみた幼老複合型施設の空間に関する研究 園児と利用者の識別距離と交流地点. 日本建築学会北陸支部研究報告集(63), pp.365-368. 2020; 63: 365-368(原著論文)(発刊済)
4. 山本駿介, 棒田恵, 西村伸也, 横川遥哉. 共著(コレスポンディングオーサー). 佐渡市小木の町家における改修による空間変容に関する研究 吹抜け周りでの生活と廊下の回遊性に着目して. 日本建築学会北陸支部研究報告集(63), pp.345-348. 2020; 63: 345-348(原著論文)(発刊済)
5. 奥田樹立, 棒田恵, 西村伸也, 和田浩一. 共著(コレスポンディングオーサー). 学生の設計プロセスにおけるデザインの決定に関する研究 自己評価と思考内容の特徴. 日本建築学会北陸支部研究報告集(63), pp.379-382. 2020; 63: 379-382(原著論文)(発刊済)
6. 小林勉, 西村伸也, 棒田恵, 佐々木夏穂, 宮田桂. 共著(コレスポンディングオーサー). 山形県海岸部町家の外観特性に関する研究. 日本建築学会北陸支部研究報告集(63), pp.487-488. 2020; 63: 487-488(原著論文)(発刊済)
7. 古市真大, 西村伸也, 棒田恵, 小林勉, 横川遥哉. 共著(コレスポンディングオーサー). 佐渡市小木町における町家の空間構成に関する研究 その1 住戸間隙の共用「ダシアイ」の特徴. 本建築学会大

- 会（関東）学術講演梗概集，pp.167-168. 2020；63：167-16（原著論文）（発刊済）
8. 横川遥哉，西村伸也，棒田恵，小林勉，古市真大. 共著（コレスポンディングオーサー）. 佐渡市小木町における町家の空間構成に関する研究 その2 ダシアイからみる住まい方と室構成の変容. 日本建築学会大会（関東）学術講演梗概集，pp.169-170. 2020；63：169-170（原著論文）（発刊済）
 9. 木田大夢，棒田恵，西村伸也，費迎慶，計文浩，呉イェンハン. 共著（コレスポンディングオーサー）. 中国福建省埭美村の空間構成の変容に関する研究（1）基本構成と室機能の關係に着目して. 日本建築学会大会（関東）学術講演梗概集，pp.348-349. 2020；63：348-349（原著論文）（発刊済）
 10. 棒田恵，西村伸也，費迎慶，計文浩，呉イェンハン，木田大夢. 共著（コレスポンディングオーサー）. 中国福建省埭美村の空間構成の変容に関する研究（2）室機能の移動による住まい方の変化に着目して. 日本建築学会大会（関東）学術講演梗概集，pp.350-351. 2020；63：350-351（原著論文）（発刊済）
 11. 山口華歩，西村伸也，棒田恵，宮田桂，佐々木夏穂. 共著（コレスポンディングオーサー）. 世代間交流からみた幼老複合型施設の空間に関する研究 その1 利用者と園児の位置と交流. 日本建築学会大会（関東）学術講演梗概集，pp.1283-1284；2020；63：1283-1284（原著論文）（発刊済）
 12. 佐々木夏穂，棒田恵，西村伸也，山口華歩，津野翼，佐藤寛人. 共著（コレスポンディングオーサー）. 代間交流からみた幼老複合型施設の空間に関する研究 その2 交流時の利用者と園児の距離. 本建築学会大会（関東）学術講演梗概集，pp.847-848. 2020；63：847-848（原著論文）（発刊済）
 13. 小林勉，西村伸也，棒田恵. 共著（コレスポンディングオーサー）. 福井県三国町における町家の外観形成に関する研究 その1. 日本建築学会大会（関東）学術講演梗概集，pp.849-850. 2020；63：849-850（原著論文）（発刊済）
 14. 呉イェンハン，西村伸也，棒田恵，費迎慶，甲賀達郎. 共著（コレスポンディングオーサー）. 中国福建省南部の天井を持つ農村住居における空間構成と住まい方に関する研究 天井（tianjing）と庁（ting）の形態からみる住居の仕組み. 日本建築学会大会（関東）学術講演梗概集，pp.351-352. 2020；63：351-35（原著論文）（発刊済）
- 3 学会活動
- 1) 所属学会
 - 日本建築学会，MERA
 - 2) 学会等の役職
 - 建築学会現代建築評価小委員会委員，建築学会建築審査部門委員，研究計画調書アドバイザー・MaSTアドバイザー（新潟大学）
- 4 社会活動
- 1) 公開講座・講演会，出前講座等
 - （講座・講演・研修・講習会名，内容，役割，対象者，開催都市名，開催年月日（西暦）の順に掲載）
 - ・新潟経済同友会第2回地域委員会，雁木とポケットパークでのまちづくり，講演，新潟経済同友会，新潟市，2002年10月23日
 - 2) 社会活動への参加・協力（団体・協会名，活動内容や役割，対象者，開催都市名，活動年月日または協力期間の順に記載）
 - ・三条市まちづくり，環境形成とまちづくり・主催，市民，三条市，2020.04-2021.03
 - ・栃尾まちづくり，環境形成とまちづくり・主催，市民，栃尾地区市民，2020.04-2021.03
 - 3) 公的機関（官公庁等）の審議会・委員会等の名称と役職
 - 新潟市景観審議会委員長，柏崎市都市景観審議会委員長，村上市都市計画審議会委員長，独立行政法人大学改革・学位授与機構 国立大学教育研究評価委員会専門委員，建築賞審査委員長（新潟県建築士事務所協会）
 - 4) 職能団体（各協会・士会等）の委員等
 - 新潟県建築設計事務所協会顧問，済生会新潟病院倫理委員会委員，朱鷺メッセ施設管理委員会委員長
 - 5) 産官学連携及び所属団体のチームプロジェクト，研究会等への参加実績
 - ・北海道と新潟での COVID19 に対する学校環境の調査研究会

- ・中国東北部の“カン”を持つ伝統的住居の研究会
- ・設計組織の設計方法に関する研究会
- 6) 技術相談, 社会・地域連携の実績
 - ・技術相談：隣地との擁壁崩落への対応相談, 46 日
 - ・技術相談：大学病院付属宿泊棟のデザインに関する相談, 34 日
 - ・技術相談：海外居住研究（中国民居）の相談, 15 日. 技術相談：設計組織の設計方法の相談, 8 日
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金（科学研究費等）の受入研究費の内容
 - ・2018, 基盤研究（C）, 廻船ルートで栄えた日本海沿岸（北陸～東北地域）町家の建築構法・建築文化の継承, 研究分担者（継続）
 - ・2017, 基盤研究（B）, 蒸暑地の住居での半屋外空間が持つ社会的持続性と環境的持続性を両立させる仕組の解明, 研究分担者（継続）
 - 2) 学外兼務講師等

新潟大学（西洋建築史）, 2020.04-2020.08. 長岡工業専門高等学校（建築概論）, 2020.04-2020.08

氏名：原岡 和生

- 1 研究題目
 1. ランキング学（社会におけるランキングの使い方・使われ方に関する学際的研究）, 2. 音楽情報処理,
 3. 企業戦略・ビジネスモデル・組織論・ビジネスイノベーション, 4.アントレプレナー実践
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会

一般社団法人日本開発工学会, 一般社団法人俯瞰工学研究所
 - 2) 学会等の役職

一般社団法人日本開発工学会ビジネスイノベーション研究会・副主査, 一般社団法人俯瞰工学研究所・主任研究員
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会, 出前講座等

（講座・講演・研修・講習会名, 内容, 役割, 対象者, 開催都市名, 開催年月日（西暦）の順に掲載）

 - ・マーケティングを制するためのランキングの裏側, ランキング, 講師, 社会人, Online, 2021.2.19, 2021.2.26, 2021.03.05
 - 2) TV 出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

（出演したメディアの種類・番組・掲載紙名, タイトル・放映内容, 開催年月日の順に記載）

 - ・邦楽ジャーナル, E-fu 付き「春の海」でコラボを!, 2020 年 7 月号
- 4 その他の教育研究活動
 - 1) 受賞・学位取得・資格取得
 - ・特許第 6736174 号 プログラムおよび情報処理方法, 2020/7/17

氏名：古屋 光俊

- 1 研究題目
 1. アントレプレナーの特性, 2. アントレプレナーの育成, 3. 理念とベンチャー企業成長
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会

日本ベンチャー学会
- 3 社会活動
 - 1) 公開講座・講演会, 出前講座等

(講座・講演・研修・講習会名, 内容, 役割, 対象者, 開催都市名, 開催年月日(西暦)の順に掲載)

- ・第3回開志コラボセミナー, パネルディスカッション, パネラー, 一般, 新潟市(オンライン), 2021.3.22)

2) TV 出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

(出演したメディアの種類・番組・掲載紙名, タイトル・放映内容, 開催年月日の順に記載)

- ・日本経済新聞, 学生の起業支援, ファンド設立, 2021.1.13
- ・新潟日報, 学生の起業 徹底支援, 2021.1.15
- ・読売新聞, 学生起業 ファンドで支援, 2021.1.15
- ・日刊工業新聞, VB, 新潟から世界へ, 2021.1.19

3) 社会活動への参加・協力(団体・協会名, 活動内容や役割, 対象者, 開催都市名, 活動年月日または協力期間の順に記載)

- ・東工大蔵前 IT コミュニティ, 講演会事務局, IT 関連起業家, 東京(オンライン), 2020.10.7
- ・東工大蔵前ベンチャー相談室, 運営委員, 起業家, 東京(オンライン), 2020.4.1~2021.3.31

4) 技術相談, 社会・地域連携の実績

- ・NIIGATA 大学生 & 高校生マイプロジェクト LABO STARTUP CAMP でのメンターリング(2021.3.7), 0.5

4 その他の教育研究活動

1) 学内部活動の実績

- ・ビジネスプランコンテスト, ビジコン in 新潟大学, ビジネスプラン, 2位, 3位, 新潟市(オンライン), 2021.2.22, 代表顧問

氏名: 増田 達夫

1 研究題目

新型コロナが経済, 財政, 社会に与える影響と対策

昨年度は, 来たるべき水素社会について, 科学者, 技術者, 経済学者, 企業関係者と情報交換し, 2020年3月6-8日のWindsor Energy Group 年次会議で“Unlocking the Hydrogen Potential9”のタイトルで, プレゼンを行っている。本年度に入ってから, 新型コロナが与える経済的, 財政的, 社会的影響について, 自らが所属する世界科学者連盟(The World Federation of Scientists)のメンバー初め, 医学者, IMFの元アナリスト, 経済学者, 社会学者などとも情報交換し, 自分なりの考えをまとめる努力をおこなってきている。これらの成果を活かし, 2020年7月6日の世界科学者連盟ウェブ会議で“Countering Covid-19 in Tokyo and Japan”のタイトルで, 日本の状況と課題につきプレゼンを行った。2020年10月12日には, ヨーロッパの生物医学関係者を主体とするウェブセミナーで, 世界の経済・財政への影響につき“The Economic and Financial Impact of COVID-19”と題するプレゼンを行い, その後も調査・分析を継続している。

2 学会等研究発表

1. 増田達夫, Countering Covid-19 in Tokyo and Japan, The World Federation of Scientists. (ウェブ会議) 2020年7月6日(一般発表)
2. 増田達夫, The Economic and Financial Impact of COVID-19, BioMedical Studies in the Age of Pandemics. (ウェブ会議) 2020年10月12日(招待講演)

3 学会活動

1) 所属学会

The World Federation of Scientists, The International Association for Energy Economics, Expert Network, The World Economic Forum

2) 学会等の役職

The World Federation of Scientists, Permanent Monitoring Panel Member

4 社会活動

- 1) 公的機関（官公庁等）の審議会・委員会等の名称と役職
 - ・一般財団法人 アジア太平洋エネルギー研究センター(APERC) 評議員

氏名：向 正道

1 研究題目

1. IT・情報システムと競争力に関する研究, 2. 企業における IT の普及に関する研究, 3. 情報システム構築の成功要因に関する研究

2 著書

1. 日本情報システムユーザー協会. 共著. 企業 IT 動向調査 2020 (第 6 章 IT 組織とガバナンス 担当). 1 版. 東京. 日経 BP 社. 2020; 149-186 (書籍) (発刊済)

3 論文

1. 向正道・横田明紀・栗山敏・鎗水徹・黄婷婷. 筆頭. 経営戦略と IT 戦略のねじれ構造に関する研究：基幹系システム構築プロジェクトにおける計画未達要因の分析. 経営情報学会紙. 2020; 29 (2): 105-127 (原著論文) (発刊済)

4 学会等研究発表

1. 鎗水徹, 向正道. なぜ, 基幹系情報システム投資は失敗するのか —「経営戦略と IT 戦略のねじれ構造」の提案—. 組織学会 2020 年度研究発表大会. 横浜 (オンライン). 2020.6.7 (一般発表)
2. 向正道. 新たな IT はどのように企業に普及していくのか? —文献レビューを通じた仮説の提示—. 浜名湖フォーラム 2020 (経営情報学会 中小企業の IT 経営研究部会, クラウドサービス推進機構, IT コーディネータ協会共催). 浜松 (オンライン). 2020.8.30 (一般発表)
3. 向正道, 栗山敏, 鎗水徹, 竹政昭利, 石井昭紀. 新たな IT はどのように企業に普及していくのか. 経営情報学会 2020 年全国研究発表大会. 東京 (オンライン). 2020.11.8 (一般発表)

5 学会活動

1) 所属学会

経営情報学会, 組織学会, 日本経営学会, 日本経営システム学会, 日本マーケティング学会

2) 学会等でのその他の活動

- ・(経営情報学会) 第 57 回 IT 資産価値研究部会. 研究部会. 主査・発表者. 東京 (オンライン). 2020.5.29
- ・(経営情報学会) 第 58 回 IT 資産価値研究部会. 研究部会. 主査. 東京 (オンライン). 2020.6.25
- ・(経営情報学会) 第 59 回 IT 資産価値研究部会. 研究部会. 主査. 東京 (オンライン). 2020.8.9
- ・(経営情報学会) 第 60 回 IT 資産価値研究部会. 研究部会. 主査. 東京 (オンライン). 2020.9.16
- ・(経営情報学会) 第 61 回 IT 資産価値研究部会. 研究部会. 主査. 東京 (オンライン). 2020.10.27
- ・(経営情報学会) 第 62 回 IT 資産価値研究部会. 研究部会. 主査. 東京 (オンライン). 2020.12.7
- ・(経営情報学会) 第 63 回 IT 資産価値研究部会. 研究部会. 主査. 東京 (オンライン). 2021.2.1
- ・(経営情報学会) 第 64 回 IT 資産価値研究部会. 研究部会. 主査・発表者. 東京 (オンライン). 2021.3.2

6 社会活動

1) 社会活動への参加・協力 (団体・協会名, 活動内容や役割, 対象者, 開催都市名, 活動年月日または協力期間の順に記載)

- ・日本情報システムユーザー協会 (JUAS). 企業 IT 動向調査 2021 委員. 企業. 東京. 2020.5.~2021.5

7 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

- ・早稲田大学大学院経営管理研究科 (情報システムの戦略的投資と経営戦略：デジタル時代のビジネスモデルデザイン). 2020.9.~11
- ・立命館大学 OIC 総合研究機構 客員研究員 プロジェクトリスクマネジメント研究 (東北大学, 立命館大学) の支援. 2020.4~2021.3

氏名：石川 秀才

1 研究題目

1. 起業教育における不動産法学の視点での実践的教育

2 著書

1. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引「建築主からの支給材料に欠陥があった場合の責任はどうなるか」. 東京. 新日本法規出版. 2020 (書籍) (発刊済)
2. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引「設計図に従って行った工事が仕様書と合致しないときはどうなるか」. 東京. 新日本法規出版. 2020 (書籍) (発刊済)
3. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引「発注書から設計変更の指示があった場合, 請負人は設計変更に伴う請負代金の増額が決まるまでは工事を中止できるか」. 東京. 新日本法規出版. 2020 (書籍) (発刊済)
4. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引「現場説明の際に示された施工条件と実際の条件が異なった場合は, 請負代金の増額請求ができるか」. 東京. 新日本法規出版. 2020 (書籍) (発刊済)
5. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引「契約時と違う工法で施工された建物の差額分を請求できるか」. 東京. 新日本法規出版. 2020 (書籍) (発刊済)
6. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引「建設業審査に過失があるとして, 県に損害賠償を請求できるか」. 東京. 新日本法規出版. 2020 (書籍) (発刊済)
7. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引「不当に低い請負代金とは」. 東京. 新日本法規出版. 2020 (書籍) (発刊済)
8. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引「相手が錯誤により日照補償和解契約を締結した場合爾後に出現した被害により和解は無効となるか」. 東京. 新日本法規出版. 2020 (書籍) (発刊済)
9. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引「工事跡や, 材料置き場での子どもの事故の責任は誰にあるか」. 東京. 新日本法規出版. 2020 (書籍) (発刊済)
10. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引「特定住宅瑕疵担保責任」とは何か」. 東京. 新日本法規出版. 2020 (書籍) (発刊済)
11. 石川秀才, 周藤利一. 共著. 建設工事紛争 予防・解決の手引「工作物の瑕疵責任とはどのようなものか」. 東京. 新日本法規出版. 2020 (書籍) (発刊済)

3 論文

1. 石川秀才. 単著. 不動産学部生の学外学修：不動産学部生が在学中に取得する資格についての「管理業務主任者について」. 明海大学不動産学部編集・発行「明海フロンティア」No.20. 2021; No.20 (発行予定)

4 学会活動

1) 所属学会

不動産学会, 日本法政学会, 日本法育学会

5 社会活動

1) 公開講座・講演会, 出前講座等

(講座・講演・研修・講習会名, 内容, 役割, 対象者, 開催都市名, 開催年月日(西暦)の順に掲載)

- ・三井不動産系サンライフ・クリエイション人材サービス部. 宅建講座. 講師. 社員. 東京. 2020.4～10
- ・イノベーション力研究所 創業支援センター. 委員. 新潟. 2020年

2) 社会活動への参加・協力(団体・協会名, 活動内容や役割, 対象者, 開催都市名, 活動年月日または協力期間の順に記載)

- ・三井不動産系サンライフ・クリエイション人材サービス部. 講座講師. 社員他. 東京. 2020.4～10
- ・イノベーション力研究所 創業支援センター. 委員. 新潟. 2010

7 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

- ・日本大学理工学部まちづくり工学科（宅地建物学）. 2014～
- ・明海大学不動産学部（不動産取引演習）. 2014～2020

氏名：平田 沙織

1 研究題目

1. 社会福祉法人におけるディスクロージャーの考察と統合思考を用いたモデルの構築 日本学術振興会科学研究費助成事業 挑戦的研究（萌芽）

2 論文

1. 平田沙織, 荒木孝治, 柴健次, 筆頭. 統合報告書が投資意思決定に及ぼす影響について—ESG 格付けを通じた分析—. 産業経理. 2020.10; 80号: 81~92 (原著論文) (発刊済)
2. 宗田健一, 平田沙織, 共著. 日本会計研究学会 第79回全国大会レポート. 会計・監査ジャーナル. 2020.12; 32巻(12号): 70~77 (解説) (発刊済)
3. 平田沙織. 単著. 社会福祉法人における統合報告書の導入に関する一考察—統合報告フレームワークの構築と専門家の役割を中心に—. 会計・監査ジャーナル. 2021.2; 33巻(2号): 90~97 (原著論文) (発刊済)

3 学会活動

1) 所属学会

日本会計教育学会, 日本簿記学会, 日本経済会計学会 (旧: 日本ディスクロージャー研究学会), 日本会計研究学会, 日本港湾経済学会, 日本経営管理協会 (神奈川県支部所属), 日本経営管理学会

2) 学会等の役職

- ・日本経営管理協会 (神奈川県支部) 監事 (会計監査)
- ・日本経営管理学会事務局

4 社会活動

1) 産官学連携及び所属団体のチームプロジェクト, 研究会等への参加実績

- ・大学 IRFW 研究会 (関西大学柴教授, 東京大学広報室, EY 新日本有限責任監査法人 他)
- ・社会福祉法人ディスクロージャー研究会 (田園調布学園大学國見准教授, 関西大学柴教授, 嘉悦大学古山准教授, 北海道大学榎本教授, 國學院大學金子教授 他)
- ・FTSE のデータ (統合報告書を導入した企業に関するデータ) 活用のための研究会 (関西大学荒木教授, 柴教授)

2) 技術相談, 社会・地域連携の実績

- ・ガトウ専科と長岡大学が開発したコイクッキーの販促活動. 約2ヶ月間
- ・長岡大学中村ゼミナールの卒業論文の指導. 約1ヶ月間

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

- ・2020年. 挑戦的萌芽研究. 社会福祉法人におけるディスクロージャーの考察と統合思考を用いたモデルの構築. 平田沙織. 新規

氏名：福田 稔

1 研究題目

1. 専門職大学の臨地実務実習における実務家教員によるユーザー視点のプログラム開発・実装, 2. 臨地実務実習 (実習日誌等) における教育効果の質的研究

2 学会活動

1) 所属学会

日本ベンチャー学会, 地域活性学会

3 社会活動

1) 公開講座・講演会, 出前講座等

(講座・講演・研修・講習会名, 内容, 役割, 対象者, 開催都市名, 開催年月日(西暦)の順に掲載)

- ・広島県移住促進セミナー, U・Iターン支援, 講師, 首都圏30代, ZOOM, 2020.6.19
- ・ビジネスプランブラッシュアップセミナー, 起業支援, アドバイザー, 大学生, ZOOM, 2020.9.5
- ・もみじ銀行 経営者二世教室セミナー, 事業承継支援, 講師, 事業承継者, 広島市, 2020.11.6
- ・イノベーションマネジャー育成講座, イノベーション支援人材の育成, 講師・責任者, 経営幹部, ZOOM, 2020.11.14

2) TV出演, ラジオ出演, 新聞掲載, 一般雑誌掲載等

(出演したメディアの種類・番組・掲載紙名, タイトル・放映内容, 開催年月日の順に記載)

- ・新潟経済新聞 BizLink, 新しい収益を立てることをイノベーションと言おうじゃないか, 2020.6.10

3) 社会活動への参加・協力(団体・協会名, 活動内容や役割, 対象者, 開催都市名, 活動年月日または協力期間の順に記載)

- ・(一社)日本イノベーションマネジャー協会, イノベーションマネジャーが活躍するための教育・啓発・相談対応, 経営幹部, 東京, 2019.4.1~2020.3.31

4) 職能団体(各協会・士会等)の委員等

- ・(一社)日本イノベーションマネジャー協会 代表理事

5) 技術相談, 社会・地域連携の実績

- ・広島県創業サポーター, 5日
- ・広島県事業引継ぎセンター コーディネーター, 4日
- ・(一社)日本イノベーションマネジャー協会 シニア・イノベーションマネジャー®, 12日

4 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

- ・近畿大学工学部(技術・知識経営), 2017年度~現在

氏名: 星 和樹

1 研究題目

1. 組織の戦略形成プロセスに関する研究, 2. 高信頼性組織のマネジメントに関する研究, 3. 組織におけるストーリーテリングに関する研究

2 報告書

1. 中西晶, 高木俊雄, 四本雅人, 星和樹, 三沢良, 黒澤壮史, 寺本直城, 矢寺顕行, 吉野直人, 藤川なつこ, 中原翔, 杉原大輔, 科研費基盤研究(B), 日本企業の高信頼性組織化: 組織的視点からの安全とセキュリティの追求, 研究成果報告書: 2016-2019(研究分担者)

3 学会活動

1) 所属学会

日本経営学会, 組織学会, 経営情報学会, 日本経営システム学会, 経営行動研究学会, 日本情報経営学会, 産業・組織心理学会, 経営戦略学会, 日本経営品質学会

4 社会活動

1) 公開講座・講演会, 出前講座等

(講座・講演・研修・講習会名, 内容, 役割, 対象者, 開催都市名, 開催年月日(西暦)の順に掲載)

- ・高志中等教育学校 令和2年度 地域教育 PTA 土曜活用講座(ビジネス講座), 「日常生活からビジネス思考を身につけよう!~将来のための第一歩~」, 講師, 高志中等教育学校の1年生~6年生, 新潟市立高志中等教育学校, 2020.9.19(土)
- ・新潟市立高志中等教育学校 3学年 「起業プラン検討会」, 生徒が考えた起業プランへの, ゲストによる感想やアドバイス, ゲスト(アドバイザー・コメンテーター), 高志中等教育学校の3年生, 新潟市

立高志中等教育学校, 2020.10.29 (木)

5 その他の教育研究活動

- ・2020年度 科研費基盤研究 (B), これからの組織に求められる危機への対応とレジリエンス: 高信頼性組織論の視点から, 研究分担者, 新規

氏名: 渡辺 康英

1 研究題目

1. 過疎市町村における地域商店の運営実態, 2. ソーシャルデザインの検討プロセス, 3. ソーシャルデザインの収益モデル

2 社会活動

- 1) 産官学連携及び所属団体のチームプロジェクト, 研究会等への参加実績
 - ・開志コラボセミナー シンポジウム企画運営

氏名: 土岐 智賀子

1 研究題目

1. キャリア研究, 2. イタリアの社会政策, 3. イタリアの社会的企業, 4.アントレプレナーシップ教育, 5. インターンシップ (コーオペ実習)

2 著書

1. 土岐智賀子, 共著. 非営利組織による社会的包摂と持続可能な社会づくり: イタリアの動向と課題. 初版. 京都. ナカニシヤ出版; 2020: 165-184 (書籍) (発行済)

3 学会等研究発表

1. 田代秀一, 土岐智賀子, 福田稔, 磯西徹明. 新設専門職大学でのオンライン教育への取り組み. 国立情報学研究所 大学の情報環境のあり方検討会. オンライン: 2020年12月25日 (一般発表)

4 学会活動

1) 所属学会

日本社会学会, 日本高等教育学会, 日本キャリア教育学会, イタリア学会

5 その他の教育研究活動

1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容

- ・2019. 基盤研究 (B), 「EU とその加盟国における多様な社会的包摂政策の展開とシティズンシップに関する研究」, 研究分担者 (新規)

2) 学外兼務講師等

- ・明星大学通信教育学部 (教育社会学), 2020年10月 (集中講義)

氏名: 松澤 孝紀

1 研究題目

1. ビックデータより見る個人投資家行動, 2. 金融機関の経営

2 学会活動

1) 所属学会

日本金融学会, 証券経済学会, 日本ファイナンス学会, 日本会計研究学会

2) 学会等でのその他の活動

- ・金融プラス・フォーラム, 第1回会員研究会, 総務 (ホスト), Zoom, 2020.11.15
- ・金融プラス・フォーラム, 第10回研究会報告会, 総務 (ホスト), Zoom, 2020.12.13
- ・金融プラス・フォーラム, 第11回研究会報告会, 総務 (ホスト), Zoom, 2021.3.14

3 社会活動

- 1) 公開講座・講演会, 出前講座等

(講座・講演・研修・講習会名, 内容, 役割, 対象者, 開催都市名, 開催年月日(西暦)の順に掲載)

・新潟県立新潟東高等学校出前講義, 「経済学入門 2020」, 講演者, 在学生, 新潟市, 2020年11月26日

4 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

- ・青山学院大学大学院社会情報研究科(社会人間特別講義 E: リスクマネジメント), 2020.10より2021.3
- ・跡見学園女子大学(経営財務論), 2020.4より2020.9
- ・跡見学園女子大学(観光財務論), 2020.10より2021.3
- ・跡見学園女子大学(ファイナンシャル・プランニング), 2020.10より2021.3
- ・中央学院大学(株式会社と証券市場), 2020.4より2020.9
- ・中央学院大学(経済と株価), 2020.10より2021.3
- ・中央学院大学(近代金融論), 2020.4より2020.9
- ・中央学院大学(現代金融論), 2020.10より2021.3
- ・武蔵大学(数的処理), 2020.10より2021.3
- ・武蔵大学(経済データ分析), 2020.10より2021.3

氏名: 東城 歩

1 研究題目

1. 中小企業会計(その実態と今後の可能性について), 2. 簿記論・財務諸表論(主に中小企業において重要な会計処理について), 3. 簿記検定対策(大学教育における必要性と今後の可能性について), 4. 工業簿記管理会計(実態の把握と課題抽出), 5. 簿記会計教育とアントレプレナーシップの関係性について

2 学会等研究発表

1. 東城歩, 新潟の食産業の中小企業ネットワーク構築の取り組み～フードメッセの役割～, 新潟大学環東アジア研究センター附置・中小企業ナレッジネットワークセンター主催 オンライン 国際シンポジウム「中小企業ネットワークの日台比較～価値共創を中心に～」, 新潟・台湾(オンライン); 2021.2.20(一般発表)

3 学会活動

1) 所属学会

日本ベンチャー学会, 中小企業会計学会, 日本簿記学会

4 社会活動

1) 公開講座・講演会, 出前講座等

(講座・講演・研修・講習会名, 内容, 役割, 対象者, 開催都市名, 開催年月日(西暦)の順に掲載)

- ・税理士法人ツチダ会計主催経営者セミナー, 事例に基づく経営分析, 講師, ツチダ会計の取引先等, 新潟市, 2020.12.16
- ・新潟県立十日町総合高等学校出前講義, 経営と会計から経済の大切さを知ろう, 講師, 在学生(1年生), 十日町市, 2021.1.13
- ・新潟県立中条高等学校出前講義, 経営, 経済学の内容での模擬講義, 講師, 在学生(2年生), 中条市, 2021.1.27

5 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

- ・新潟大学(検定商業簿記2級Ⅰ), 2020.4～9末
- ・新潟大学(検定商業簿記2級Ⅱ), 2020.10～2021.3末

氏名: 島田 健太郎

1 研究題目

1. ケニアにおける教育と世代間社会移動研究 (教育経済学), 2. 起業教育の効果測定 (経営学・高等教育学), 3 日本型教育輸出に関する研究 (比較教育学)
- 2 報告書
 1. 島田健太郎. 研究分担者. 受託研究. インドネシアの教育制度 (第 4 章). 基幹プログラム報告書, 「教育システム 輸出入拠点の形成～国際教育都市「けいはんな」の可能性を探る～」. 2019 -. (研究分担者)
 2. Kentaro Shimada. 研究分担者. 受託研究. Education System in Indonesia (Ch..4). Core Program Report, Creating a Hub for Import/Export of the Educational System- Exporting the Possibility of Keihanna, an Intertional Educational City- ; 2019 -. (研究分担者)
- 3 学会活動
 - 1) 学会等の役職
日本比較教育学会, 国際開発学会, Comparative and International Education Society
- 4 社会活動
 - 1) 社会活動への参加・協力 (団体・協会名, 活動内容や役割, 対象者, 開催都市名, 活動年月日または協力期間の順に記載)
・ 京都大学学際融合教育研究推進センター地域連携教育研究推進ユニット, 地域私学振興支援事業 (啓明学院) にかかるオフショアスクール研究会において意見交換, オフショアスクール研究会メンバー, 京都市, 2020.4.1～2021.3.31
- 5 その他の教育研究活動
 - 1) 外部資金 (科学研究費等) の受入研究費の内容
・ 令和元年, 基盤研究 (C), 教育分権の国際的な比較研究－階層的・財政的分析と多様な効果の混合的な検証を通して, 研究分担者, 継続

2) 情報学部情報学科

氏名：三上 喜貴

- 1 研究題目
 - 1 安全・事故データのオントロジー研究
 - 2 文字情報学－文字コードの代数的理論
- 2 学会活動
 - 1) 所属学会
日本 MOT 学会, 情報処理学会
 - 2) 学会等の役職
日本 MOT 学会, 編集委員
- 3 社会活動
 - 1) 社会活動への参加・協力 (団体・協会名, 活動内容や役割, 対象者, 開催都市名, 活動年月日または協力期間の順に記載)
・ 製品安全協会, 評議員会, 東京, 令和 3 年度より
 - 2) 公的機関 (官公庁等) の審議会, 委員会等の名称と役職
・ 産業構造審議会 製品安全部会 部会長
・ 消費経済審議会 製品安全部会 部会長
・ 製品安全優良企業表彰 選考委員会 委員長

氏名：磯西 徹明

- 1 研究題目
 1. 魅力的なオンライン授業配信システム (個人研究), 2. デザイン思考を活用したオンライン授業及びハイフレックス授業支援システム (科研費申請)
- 2 学会等研究発表

1. 田代秀一, 土岐智賀子, 福田稔, 磯西徹明. 新設専門職大学でのオンライン教育への取り組み, 【第 23 回】4 月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム (オンライン). 2020.12.25 (一般発表)
 2. 磯西徹明. デザイン思考を活用したオンライン授業及びハイフレックス授業支援システム. 文科省スキーム D プロジェクト. オンライン. 2020.12.23 (提出) (一般発表)
- 3 学会活動
- 1) 所属学会
情報処理学会
- 4 社会活動
- 1) 技術相談, 社会・地域連携の実績
 - ・田辺工業株式会社 新潟営業所 営業部 次長 富所建秋様からの自社製品であるビデオコミュニケーションサービス (ウェアブルカメラ利用) の技術相談 (0.5 日)
 - ・顧問契約の中で株式会社ジェイ・エス・エスからの技術, ビジネス相談 (9 日)

氏名：上野 衆太

- 1 研究題目
AI による無線回線設計法の研究
- 2 学会活動
 - 1) 学会等でのその他の活動
電子情報通信学会 通信ソサイエティ英文論文誌, 編集活動, 編集委員
- 3 社会活動
 - 1) 産官学連携及び所属団体のチームプロジェクト, 研究会等への参加実績
 - ・産官学連携コラボセミナーの企画会議に参画
 - ・臨地実務実習の企画会議に参画

氏名：大野 幸夫

- 1 研究題目
 1. GAFA 規制問題, 2. ネットセキュリティの法課題
- 2 著書
2021 年度中に「情報法」の教科書か講義資料を出版したいと考えている.
- 3 論文
早ければ, 1 で挙げた課題等で, 2021 年 3 月迄に共著として出版する予定で準備中.
(以下追加)
以下の 4 との関係であるが, 科研費関係共同研究のまとめが遅れているのと原稿分量の問題があるため, 2 の教科書・講義資料を先に出版する準備をしている. 教科書・講義資料の出版が先行すれば, 以下 4 の執筆は中止する.
- 4 学会研究発表
大野は, 現在継続中の明治大学での下記科研費関係 (高倉教授) の共同研究の研究分担者になっている.
『知的財産権と憲法的価値』高倉成男 明治大学, 法務研究科, 専任教授 (00440165)
- 5 学会活動
法とコンピュータ学会, 著作権法学会, 比較法学会, 経済法学会に所属
- 6 社会活動
下記の「一般社団法人情報マネジメントシステム認定センター (ISMS-AC)」は, 経済産業省傘下であり, 「システムの国際認証業務を行う団体」である. 国際認定フォーラム (International Accreditation Forum, Inc.) は, マネジメントシステム, 製品, 要員等の適合性評価の国際認定機関である. ISMS-AC は,

MLA の枠組みの下で他の APAC MRA 署名認定機関から定期的評価を受けて、認定機関に対する要求事項の ISO/IEC 17011 に適合する「ISMS, ITSMS, BCMS 等の認証基準（規格）」につき、他の国際署名認定機関と同等に信頼できる認定活動を行っている。大野は、以下の 2 委員会で活動している。

1) 一般社団法人情報マネジメントシステム認定センター (ISMS-AC)

「認定委員会」副委員長

2) 一般社団法人情報マネジメントシステム認定センター (ISMS-AC)

「認定業務公平性検証委員会」委員

* 弁護士活動（第一東京弁護士会所属）は、授業等に影響する為、開志専門職大学移籍後は、積極的にしていない。

1) 技術相談、社会・地域連携の実績

知的財産と法律関係につき、他の先生や学生から相談を受ける例が増えている。

7 学内委員会活動

図書情報委員会副委員長

氏名：金宮 好和

1 研究題目

人型ロボット・人体の運動生成及び制御に関する研究

2 学会研究発表

1. 飯塚諒, 坂口慎吾, 佐藤大祐, 金宮好和, 角運動量の分配に基づいた運動生成と制御による後方宙返りの解析. スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス (SHD) 2020 (オンライン), 2020.11.13~11.15

2. 坂口慎悟, 飯塚諒, 佐藤大祐, 金宮好和, 角運動量の分配に基づいた運動生成と制御による垂直跳躍および宙返りの解析. 第 41 回バイオメカニクス学術講演会 (SOBIM2020) (オンライン), 2020.12.5~12.6

3. 遠藤之弥, 飯塚諒, 佐藤大祐, 金宮好和, 角運動量の分配に基づいた運動生成と制御による立ち幅跳びの解析. 第 41 回バイオメカニクス学術講演会 (SOBIM2020) (オンライン), 2020.12.5~12.6

4. 遠藤之弥, 坂口慎悟, 飯塚諒, 佐藤大祐, 金宮好和, 相対角加速度に基づいた人型ロボットの立ち幅跳びおよび宙返り運動の生成と制御. 第 26 回ロボティクスシンポジウム (オンライン), 2021.3.16~3.17

5. 飯塚諒, 佐藤大祐, 金宮好和, 運動量平衡原理と角運動量の分配に基づく人型ロボットのダイナミックな全身運動の生成と制御. 第 26 回ロボティクスシンポジウム (オンライン), 2021.3.16~3.17

3 学会活動

1) 学会等の役職

日本ロボット学会 member, 日本機械学会 member, 計測自動制御学会 member, IEEE Senior member

氏名：後藤 幸功

1 研究題目

オンデマンド型学習用ネットワークシミュレータに関する研究

2 論文

岡本桂香, 後藤幸功, 共著, プログラミング学習に必要な英語能力の考察と有効な英語リメディアル教育の提案, サイバー大学 e ラーニング研究, 2020 年 12 月, 9 号, pp.19-35

3 学会活動

1) 所属学会

情報処理学会, 日本教育工学会

4 社会活動

1) 公的機関（官公庁等）の審議会・委員会等の名称と役職

・日本学術振興会 インターネット技術第 163 委員会 運営委員

5 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

・サイバー大学 客員教授 (インターネット技術他), 2020.4.1~2020.9.30

氏名：鈴木 源吾

1 研究題目

異種自律分散環境におけるオープンデータを活用した旅行計画問合せ処理技術の研究

2 学会等研究発表

1. 鈴木源吾, 問い合わせ言語 PartiQL による統一された異種データベースアクセス：グラフデータベースへの問い合わせ変換, FIT2020 第 19 回情報科学技術フォーラム (オンライン), 2020.9.1~9.3 (一般発表)

3 学会活動

1) 学会等の役職

情報処理学会, 電子情報通信学会, 日本データベース学会

4 社会活動

1) 公開講座・講演会, 出前講座等

(講座・講演・研修・講習会名, 内容, 役割, 対象者, 開催都市名, 開催年月日 (西暦) の順に掲載)

・新潟大学 FD 「数理・データサイエンス教育の推進」における講演, 新潟大学 FD 「数理・データサイエンス教育の推進」における講演, 講演者, 大学教員, 新潟 (オンライン), 2021.2.3

2) 社会活動への参加・協力 (団体・協会名, 活動内容や役割, 対象者, 開催都市名, 活動年月日または協力期間の順に記載)

・大学連携新潟協議会 ビッグデータ・オープンデータ活用研究会, ビッグデータ・オープンデータを活用した新潟地域活性化等の推進, WG メンバー, 新潟県の大学教員・研究機関等 (新潟市), 2020.8~

氏名：高嶋 洋一

1 研究題目

1. 情報セキュリティに関する研究, 2. 新幹線による新潟空港アクセスの可能性

2 学会活動

1) 所属学会

電子情報通信学会

2) 学会等の役職

電子情報通信学会マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント (EMM) 研究専門委員会 委員

3) 学会等でのその他の活動

- ・電子情報通信学会 EMM 研究専門委員会, 定例, 委員, オンライン (Zoom), 2020.5.29
- ・電子情報通信学会 EMM 研究専門委員会, 定例, 委員, オンライン (Zoom), 2020.8.3
- ・電子情報通信学会 EMM 研究専門委員会, 定例, 委員, オンライン (Zoom), 2020.9.7
- ・電子情報通信学会 EMM 研究専門委員会, 定例, 委員, オンライン (Webex), 2020.11.26
- ・電子情報通信学会 EMM 研究専門委員会, 定例, 委員, オンライン (Zoom), 2021.1.25
- ・電子情報通信学会 EMM 研究専門委員会, 定例, 委員, オンライン (Zoom), 2021.3.3

氏名：田代 秀一

1 研究題目

1. オープンデータ構築法と評価法, 2. 文字符号の国際標準化

2 著書

織田哲治, 小西聡, 高木渉, 川幡太一, 北舛和博, 武智秀, 田代秀一, 山本知, 山本太郎, 三橋洋一, 小林龍生, 鈴木俊哉, 高田智和, 安岡孝一, JIS X 0221 : 2020 (ISO/IEC 10646 : 2017, Amd.1 : 2019,

Amd.2：2019) 国際符号化文字集合 (UCS), 1 版 (東京), 日本規格協会 (2020), 本文の翻訳, 日本固有部分の執筆, 解説書執筆 (共著), 書籍 (発刊済)

3 学会活動

1) 所属学会

情報処理学会, 社会情報学会, ACM

4 社会活動

1) 公開講座・講演会, 出前講座等

(講座・講演・研修・講習会名, 内容, 役割, 対象者, 開催都市名, 開催年月日 (西暦) の順に掲載)

・大学連携新潟協議会 ビッグデータ・オープンデータ活用研究会 データ活用 WG 事例共有会, オープンデータへの茨の道 ―共通語彙基盤プロジェクトでの取り組みについて, 講演者, WG 会員+学生, (オンライン), 2020.10.22

・UDC2020 共通基盤セミナー, 共通語彙基盤への取り組みと展開, 講演者, 一般 (オンライン), 2020.12.10

・田代秀一, 土岐智賀子, 福田稔, 磯西徹明. 新設専門職大学でのオンライン教育への取り組み, 【第 23 回】4 月からの大学等遠隔授業に関する取組状況共有サイバーシンポジウム (オンライン), 2020.12.25 (一般発表)

2) 社会活動への参加・協力 (団体・協会名, 活動内容や役割, 対象者, 開催都市名, 活動年月日または協力期間の順に記載)

・大学連携新潟協議会 ビッグデータ・オープンデータ活用研究会, 会員, 大学・官公庁・研究所・企業, 2020.9～

3) 公的機関 (官公庁等) の審議会・委員会等の名称と役職

・ISO/IEC JTC1 SC2 (国際標準化機構/国際電気標準会議合同技術委員会 文字コード標準化専門委員会) 議長

・情報処理学会 情報規格調査会 SC 2 専門委員会 (文字コード)

・情報処理学会 情報規格調査会 SC 32/WG 2 小委員会 (メタデータ)

・国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 分野横断的公募事業に係る事前書面審査員

・国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) 技術委員

・独立行政法人 情報処理推進機構 (IPA) 専門委員

4) 産官学連携及び所属団体のチームプロジェクト, 研究会等への参加実績

・人工知能学会第 51 回 SWO 研究会テレカン, 2020.7.14

・大学連携新潟協議会ビッグデータ・オープンデータ活用研究会 2020 年度第 2 回研究会, 2020.8.14

・大学連携新潟協議会ビッグデータ・オープンデータ活用研究会 2020 年度第 3 回研究会, 2020.11.9

・大学連携新潟協議会ビッグデータ・オープンデータ活用研究会 2020 年度第 4 回研究会, 2020.12.10

・大学連携新潟協議会ビッグデータ・オープンデータ活用研究会 2020 年度第 5 回研究会, 2021.3.25

5 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

・中央大学理工学部経営工学科 (情報通信ネットワーク), 2020.9～2021.3

氏名：平川 秀樹

1 研究題目

知的教育支援システムの研究 (授業コンテンツに基づく教材作成, 適応学習機能によるオンライン学習効率化)

2 学会等研究発表

- 1 平川秀樹, 授業コンテンツに基づくオンライン個人学習機能の導入によるクラス授業のパフォーマンス向上に向けて. 人工知能学会, 第 93 回先進的学習科学と工学研究会 (ALST) (オンライン開催),

2021.11.27

3 学会活動

1) 所属学会

人工知能学会, 情報処理学会, 学習分析学会

4 社会活動

1) 公開講座・講演会, 出前講座等

(講座・講演・研修・講習会名, 内容, 役割, 対象者, 開催都市名, 開催年月日(西暦)の順に掲載)

- ・新潟西高校出張授業, 「IT 産業で働く」に向けて, 講演者, 高校生(新潟市) 2021.7.26
- ・日本文理高校出張授業, 人工知能(AI: Artificial Intelligence)について, 講演者, 高校生(新潟市) 2021.11.04

氏名: 堀川 桂太郎

1 研究題目

1. AI フレームワーク活用およびポスト AI 技術の連携技術の研究, 2. AI + IoT 自動運転技術の実用化研究

2 学会活動

1) 所属学会

人工知能学会

3 社会活動

1) 公開講座・講演会, 出前講座等

(講座・講演・研修・講習会名, 内容, 役割, 対象者, 開催都市名, 開催年月日(西暦)の順に掲載)

- ・糸魚川高校出前講座, AI と AI の先, 講演者, 高校生教員(糸魚川市), 2020.12.1
- ・村上桜ヶ丘高校出前講座, AI マシンラーニング, 講演者, 高校生教員(村上市), 2021.2.19
- ・中越高等学校出前講座, データサイエンス, 講演者, 高校生教員(長岡市), 2021.3.8
- ・入学前オリエンテーション, Graph-Coloring 問題: 量子コンピュータを使って・四色問題(新潟県の市町村版)を解く, 発案者, 新入生(新潟市), 2021.3.29

氏名: 宮元 万菜美

1 研究題目

1. 日本におけるイノベーションエコシステムの研究, 2. デジタル化による産業構造の変化と「両利きの経営」の研究, 3. 日本における「プラットフォーム戦略論」の研究

2 学会等研究発表

1. 宮元万菜美, 加藤和彦. プラットフォーム提供者のフィード, バック・データ活用に関する考察. 日本経営システム学会 全国研究発表大会(大阪府茨木市), 2020.11.21~11.22. 研究発表
2. 宮元万菜美. 専門職大学およびオンライン制大学における講義の実践について. 慶應大学 AAA 管理会計研究会(東京), 2020.8.16(招待講演)

3 学会活動

1) 学会等の役職

経営情報学会 理事, 経営情報学会 選挙管理委員

2) 学会等でのその他の活動

1. 経営情報学会, JASMIN プラクティショナーセミナー, 企画立案(東京), 2020.4~2020.5
2. 経営情報学会, 若手奨励策検討会, 企画立案(東京), 2020.7~2020.8

4 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

- ・明治大学 経営学部, 2015~現在

- ・早稲田大学 商学部, 2015～現在
- ・早稲田大学大学院 経営管理研究科, 2018～現在
- ・サイバー大学 IT 総合学部, 2015～2020.09

氏名：西川 昌宏

1 研究題目

インクルーシブな共創活動における効果的な支援手法の研究

2 学会活動

1) 所属学会

開志専門職学会, 日本マーケティング学会, 人間中心設計推進機構, 日本デザイン学会

3 社会活動

1) 公開講座・講演会, 出前講座等

(講座・講演・研修・講習会名, 内容, 役割, 対象者, 開催都市名, 開催年月日(西暦)の順に掲載)

・子どもユニバーサルデザイン授業, 小中学校向け UD 授業, 主催者代表, 小中学生(東京都武蔵村山市), 2020.9～11

2) 職能団体(各協会・士会等)の委員等

・特定非営利活動法人インクルーシブデザインネットワーク 理事長

4 その他の教育研究活動

1) 学外兼務講師等

・目白大学社会学部(商品デザイン論), 2020.4～9

氏名：江口 将史

1 研究題目

バーチャルリアリティ技術を活用した場所や時間, デバイスを問わず教育と学習を可能にする環境の構築に関する調査研究

2 社会活動

1) 公開講座・講演会, 出前講座等

(講座・講演・研修・講習会名, 内容, 役割, 対象者, 開催都市名, 開催年月日(西暦)の順に掲載)

・特定非営利活動法人ウェアラブルコンピュータ研究開発機構定例会, AR ビジネスの動向発表, 発表者, NPO 会員(東京), 2020.12.7

2) 産官学連携及び所属団体のチームプロジェクト, 研究会等への参加実績

・「AR 等の技術を利用した人材育成の効率化のための実証研究事業」実施委員会 委員

・「AR 等の技術を利用した人材育成の効率化のための実証研究事業」実証部会 委員

氏名：柄沢 直之

1 研究題目

1. 情報フローティングの制御に関する研究, 2. 情報フローティングの性能評価に関する研究, 3. 情報フローティングシステム開発に関する研究

2 論文

Naoyuki KARASAWA, Kazuyuki MIYAKI TA, Yuto INAGAWA, Kodai KOBAYASHI, Hiroshi TAMURA, Keisuke NAKANO, 筆頭, Information Floating for Sensor Networking to Provide Available Routes in Disaster Situations, IEICE TRANSACTIONS on Communications (2020) Vol.E103-B (No.4), 321-334, 論文, 発刊済

3 学会等研究発表

1 寺口光樹, 柄沢直之, 阿部貴志, 林隆史, 中野敬介. 情報フローティングを用いたセンサネットワーク

の情報蓄積性能の実験的評価. 令和2年度(第30回)電気学会東京支部新潟支所研究発表会(オンライン形式), 2020.10.31(一般発表)

- 2 里見大征, 宮北和之, 柄沢直之, 田村裕, 中野敬介. 情報フローティングによる通行可能マップ生成における端末の移動距離に関する考察. 日本シミュレーション学会 令和2年度第1回多次元移動通信網研究会(オンライン形式) 2020.12.3(一般発表)

4 学会活動

1) 所属学会

電子情報通信学会, IEEE, 日本シミュレーション学会, 電気学会

2) 学術集会の主催

日本シミュレーション学会 令和2年度第1回多次元移動通信網研究会, ホスト(オンライン形式), 2020.12.3

3) 学会等の役職

日本シミュレーション学会 多次元移動通信網研究委員会 幹事, 日本シミュレーション学会 和文論文誌推薦論文 編集委員

5 社会活動

1) 職能団体(各協会・士会等)の委員等

変革推進人材育成委員会 (<https://henkaku.jimdofree.com/>) 正員

2) 産官学連携及び所属団体のチームプロジェクト, 研究会等への参加実績

アーバンデータチャレンジ2020 作品応募(応募者:柄沢直之, 寺口光樹, 宮北和之, 田村裕, 中野敬介, 作品名: 情報フローティングによる仮想情報蓄積)

6 その他の教育研究活動

1) 受賞・学位取得・資格取得

日本シミュレーション学会 論文賞, 2020.7

氏名: 西川 浩平

1 研究題目

1. IBM Community Japan 2021-A-11: リカレント教育の機会提供, 2. Stay Home, Check Your Stress 新型コロナウイルス対策メンタルヘルスケアチャットボットシステム開発 2020 Call for Code Global Challenge, Japan Regional Finalist 選出, 3. ITSMを応用した在宅療養者と訪問看護ステーション間の体調相談管理システム開発と検証

2 学会等研究発表

1. 西川浩平. オンライン診療の展望—技術面から. NPO 法人 広域連携医療福祉システム支援機構(オンライン), 2020.6.27(一般発表)
2. 西川浩平. テレワークの現状と課題. NPO 法人 広域連携医療福祉システム支援機構(オンライン), 2020.6.27(一般発表)
3. 西川浩平. ローカル5Gと訪問看護. NPO 法人 広域連携医療福祉システム支援機構(オンライン), 2020.12.5(一般発表)

3 学会活動

1) 所属学会

情報処理学会, 可視化情報学会, 経営情報学会

2) 学術集会の主催

1. 第17回広域連携医療ネットワークシステム研究会, 運営事務局(オンライン) 2020.6.27
2. 第8回NPO/GCM交流フォーラム, 運営事務局(オンライン) 2020.1.5

3) 学会等の役職

NPO 法人 広域連携医療福祉システム支援機構 顧問

4 社会活動

1) 公開講座・講演会, 出前講座等

(講座・講演・研修・講習会名, 内容, 役割, 対象者, 開催都市名, 開催年月日(西暦)の順に掲載)

- ・サイエンスアゴラ 2020, 研究発表(Call for Code), 登壇者, 一般・科学者・研究者(オンライン), 2020.11.22
- ・IBM Champ Dojo #3, クラウド連携について講演, 講師, 社会人(オンライン), 2020.10.22
- ・IBM Champions Japan Chat: IT エンジニアが女性に向く理由, 女性が IT エンジニアに向く理由をパネルディスカッション. 講師は全員が女性エンジニア, 企画運営, 社会人・大学生・高校生(オンライン), 2020.9.11
- ・【オンラインもくもく】 IBM Cloud と AR でセンサデータを可視化してみよう, PANN 先生とともに登壇. 自分の担当は, AR と IoT センサーを使ったハンズオンを実施., 企画運営, 講師, 社会人(オンライン), 2020.8.28
- ・IBM Champions Japan Chat: Telework, テレワークについて, 米 IBM の公式コンテンツとしてパネルディスカッション, 企画運営, 講師, 社会人(オンライン) 2020.8.21
- ・IBM User Group Conference 2020, 基調講演, 企画運営, 講師, 社会人・企業(オンライン), 2020.6.25
- ・Code and Response Day Online #2, Web アプリ開発ハンズオン実施, 企画運営, 講師, 社会人・大学生(オンライン), 2020.5.22
- ・Code and Response Day Online #1, Web アプリ開発ハンズオン実施, 企画運営, 講師, 社会人・大学生(オンライン), 2020.4.10
- ・千葉大学病院 地域医療連携部 メディカルイノベーション戦略プログラム, データベースにした事業未来医療プレゼン(実習) 機械学習プログラム, 講師, 社会人・研究者など, (オンライン), 2020.12~2021.3

2) 社会活動への参加・協力(団体・協会名, 活動内容や役割, 対象者, 開催都市名, 活動年月日または協力期間の順に記載)

- ・IBM Cloud Users Group, ユーザー会の運営・講師, 社会人・企業・大学等(全国), 2014~
- ・IBM Champions Program, IBM Champion = 公式外部アドボケイト(クラウド及び AI 等の啓蒙, 技術研究支援など), 社会人・企業・大学等(オンラインおよび世界各国), 2017~

5 その他の教育研究活動

1) 受賞・学位取得・資格取得

2021 IBM Champion, 2021.1.14

氏名: Pann Yu Mon

1 研究題目

1. 顔認識に基づく情報検索システムの研究, 2. 学術データのオントロジー研究

2 社会活動

1) 公開講座・講演会, 出前講座等

(講座・講演・研修・講習会名, 内容, 役割, 対象者, 開催都市名, 開催年月日(西暦)の順に掲載)

オンライン勉強会, python で分析したデータを GoogleMap に表示する方法(GoogleMap 上に新潟県内全大学の所在地, 世界・国内順位, 学生数等を表示する方法を実演), 講師, 16 歳以上の興味がある方(オンライン), 8 月 28 日 2020

2) 社会活動への参加・協力(団体・協会名, 活動内容や役割, 対象者, 開催都市名, 活動年月日または協力期間の順に記載)

- ・学生委員会, メンバー, 情報学部の学生(開志専門職大学), 2020.4~
- ・開志未来創造研究センター, メンバー, 情報学部の学生(開志専門職大学), 2020.10~

3) 外部資金の獲得・取組活動

(1) 文部科学省および日本学術振興会科学研究費補助金採択一覧表

(金額単位：円)

	採択年度	終了年度	研究種目	研究者名	研究課題名	金額 (直接費+間接費)
1	2020	2022	基盤 C	近藤正幸	日本企業の現地頭脳活用とイノベーション・ネットワークのアジア戦略	4,160,000
2	2020	2022	挑戦的 (萌芽)	平田沙織	社会福祉法人におけるディスクロージャーの考察と統合思考を用いたモデルの構築	6,240,000

9. 学生関係

1) 収容定員

学部学科	入学定員	収容定員
事業創造学部事業創造学科	80名	320名
情報学部情報学科	80名	320名
アニメ・マンガ学部アニメ・マンガ学科	80名	320名
合計	240名	960名

2) 入試広報活動

- ①入学選考試験実施 全17区分
- ②試験会場 新潟, 東京, 福島(郡山), 長野
- ③オープンキャンパス等の学内イベント実施 全13回
- ④オープンキャンパス無料バスツアーの実施 全8回(7県より運行)
- ⑤高校内進学ガイダンス(出張講義等含む)参加 県内123回/県外16回
- ⑥会場形式進学ガイダンス参加 県内10会場/県外12会場
- ⑦高校生徒, 保護者, 教員等の大学見学の受け入れ 1団体
- ⑧大学公式SNSの設置および登録者促進(LINE, Twitter, YouTube, Instagram)

3) 入学者選抜方法

学部・ 学科名称	募集 定員	試験区分別募集人員								
		総合型選抜			学校推薦型選抜(専願)			一般選抜(併願)		
		A日程 (専願)	B日程 (専願)	C日程 (併願)	公募型		指定校型	個別 試験型	共通テスト利用型	
			前期日程	後期日程	前期日程	後期日程				
事業創造学部	80名	20名	10名	5名	7名	3名	20名	10名	5名	若干名
情報学部	80名	20名	10名	5名	7名	3名	20名	10名	5名	若干名
計	160名	40名	20名	10名	14名	6名	40名	20名	10名	若干名

学部名称	募集定員	試験区分別募集人員					
		総合型選抜			学校推薦型選抜(専願)		一般選抜 個別試験型 (併願)
		A日程 (専願)	B日程 (専願)	C日程 (併願)	公募型	指定校型	
アニメ・マンガ学部	80名	22名	12名	6名	10名	20名	10名

4) 入学選考試験結果

2021年度入学選考試験(2020年度実施)結果

■事業創造学部 事業創造学科

試験区分	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	前年実績	前年増減
総合型選抜	35	33	31	29	24	44	-20
学校推薦型選抜	30	16	16	16	16	16	0
一般選抜	15	55	32	28	14	12	2
小計	80	104	79	73	54	72	-18

■情報学部 情報学科

試験区分	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	前年実績	前年増減
総合型選抜	35	34	34	28	28	43	-15
学校推薦型選抜	30	29	29	29	29	21	8
一般選抜	15	79	41	38	15	16	-1
小計	80	142	104	95	72	80	-8

■アニメ・マンガ学部 アニメ・マンガ学科

試験区分	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	前年実績	前年増減
総合型選抜	40	32	32	30	28	-	-
学校推薦型選抜	30	6	6	6	6	-	-
一般選抜	10	15	11	10	8	-	-
小計	80	53	49	46	42	-	-

■開志専門職大学 全体合計

試験区分	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	前年実績	前年増減
合計	240	299	232	213	168	-	-

5) 在籍学生数

在籍学生数の状況(2021年3月31日付)

(人)

学部学科	1年	2年	3年	4年	合計
事業創造学部事業創造学科	65				65
情報学部情報学科	77				77
合計	142				142

6) 異動学生数(2021年3月31日付)

学部学科	学年	休学者	退学者	除籍者	復学者
事業創造学部事業創造学科	1年	-	2	5	-
	2年				
	3年				
	4年				
情報学部情報学科	1年	-	3	-	-
	2年				
	3年				
	4年				
合計		0	5	5	0

7) 学生生活

(1) 学生生活に関する指導

学生一人ひとりが安心・安全で充実したキャンパスライフを送ることができるよう、学生生活に関する情報提供や必要に応じた支援・指導を以下の通り計画・実行した。

①新型コロナウイルス感染症対策

2020年初頭から感染拡大の傾向が見られた新型コロナウイルスについて、本学では以下の通り対策を行い、学生・教職員の感染防止、クラスターの発生防止に努めた。

- ・授業のオンライン実施
- ・学内における感染防止対策の徹底
- ・感染者発生時の通報体制の確立
- ・校医、看護師との連携

②駐輪指導

③禁煙指導

④ SNS の利用指導

(2) オリエンテーション

各学部において学生生活や履修手続き等についてのオリエンテーションを実施した。

(3) 健康診断

学校保健安全法に基づき、すべての学生が安心・安全で充実した学生生活を送ることができるよう、学生生活への支援の一環として、8月24日(月)、25日(火)に開志専門職大学の学生定期健康診断を実施した。

(4) 心理相談

学生からの相談に応じて、随時産業カウンセラーによる面談を実施した。

(5) 奨学金制度

奨学金制度には、日本学生支援機構、地方公共団体、民間団体等によるものがある。

2020年度の実績は次の通り。

日本学生支援機構（JASSO）の奨学金制度（貸与型／返還義務あり）

種類	種類第一種奨学金【無利子貸与】	第二種奨学金【有利子貸与】
貸与月額	自宅通学者 3万円, 5万4千円から選択 自宅外通学者 3万円, 6万4千円から選択	2万円～12万円（1万円単位）で選択
貸与期間	採用年度の4月から卒業までの最短修業年数	採用年度の4月～9月の間で希望する月から卒業までの最短修業年数
返還期間	卒業後およそ14年から16年	卒業後およそ13年から20年
募集時期	4月下旬（予定）	4月下旬（予定）

(6) 学友会

学生の自主性による文化活動、スポーツ活動ならびに地域活動等を通じて、学生相互の親睦、資質の向上及び健康の増進を図り、学生生活を充実したものにするために、学友会組織「専律会」が発足した。

会長、副会長、学科委員、クラブ委員、会計、監事、大学祭監督を中心に活動した。

(7) 大学祭

新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年度の大学祭開催はなし。

(8) クラブ活動

本学では、学部・学科の枠を超えてサークルの設立および活動をした。

■ 2020 年度 サークル内容

起業サークル／アルビレックスプロジェクト／写真動画サークル／ゲームサークル／ラケットスポーツサークル／サッカー・フットサルサークル／ポケモンサークル／CReators of KAISHI LAB (ハード・ソフトの設定, IoT 開発)／ていぼうサークル

(9) 学生表彰 (学年は 2021 年 3 月時点のものとする)

受賞者：梅林 和哉 (事業創造学部 1 年)

新潟大学ビジネスアイデアコンテスト 準グランプリ (2021 年 2 月 22 日開催)

テーマ：学生酒

受賞者：神 昂, 平山 泰暉 (情報学部 1 年)

新潟大学ビジネスアイデアコンテスト 奨励賞 (2021 年 2 月 22 日開催)

テーマ：中高生が繋ぐ中小企業リレー

学校法人 新潟総合学院
開志専門職大学年報
2020（令和 2）年度

発行日 2021 年 12 月 22 日

編集・発行 開志専門職大学
〒950-0914 新潟市中央区紫竹山 6-3-5
TEL：025-240-8118
FAX：025-240-8123
URL：https://kaishi-pu.ac.jp/

印刷 株式会社ウイザップ